

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">社会科学</p>	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
	担当教員	吉田 友哉・井上 雄・柳谷 知宏
科目時間数 ： 680 時間	授業の種類 ：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期 ：	1年次4月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験において必要とされる社会科学について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、政治学、行政学、社会学、経営学の各科目について、大学卒業程度国家公務員試験に必要な知識を基準としながら、理論を学び、演習によって定着を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 大学卒業程度国家公務員試験において、その理解が答案作成という形で表すことができることを目標とする。</p>		
使用教材	出版社	
1. 憲法 2. 行政法読本 等	弘文堂 有斐閣	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>		
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>		
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>		
<p>【担当職員の実務経験】</p>		

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		専員ビジネス科（Ⅱ種2年コー）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1回	憲法	憲法と立憲主義について学ぶ。		
2回	民法 民法の全体像	民法の全体像について学ぶ。		
3回	ミクロ経済学 需要曲線・供給曲線	経済における需要曲線・供給曲線の形を理解できる。また需要の価格弾力性についても理解できる。		
4回	憲法	憲法と立憲主義について学ぶ。		
5回	民法 総則	民法の基本原則と権利の制約について学ぶ。		
6回	ミクロ経済学 需要曲線・供給曲線	計算問題が解けるようになる。		
7回	憲法	日本国憲法史について学ぶ。		
8回	民法 総則	民法（民法の基本原則と権利の制約）について学ぶ。		
9回	ミクロ経済学 生産者理論	生産者における費用構造が理解できる。また利潤最大化の条件を計算・グラフで理解できる。		
10回	憲法	国民主権の原理について学ぶ。		
11回	民法 総則	権利能力について学ぶ。		
12回	ミクロ経済学 生産者理論	損益分岐点・操業停止点の条件、グラフ上の点がどこであるか理解できる。		
13回	憲法	国民主権の原理について学ぶ。		
14回	民法 総則	権利能力について学ぶ。		
15回	ミクロ経済学 生産者理論 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。		
16回	経営学	経営学の全体像を概観する。		
17回	政治学・行政学	政治学の全体像を概観する。		
18回	社会学	社会学の誕生について学ぶ。		
19回	経営学	企業の特徴について学ぶ。		
20回	政治学・行政学	政治学の歴史について学ぶ。		
21回	社会学	社会学の成立と展開について学ぶ。		
22回	憲法	平和主義の原理について学ぶ。		
23回	民法 総則	意思能力について学ぶ。		
24回	ミクロ経済学 市場均衡	市場均衡に至る3つの過程が理解できる。		
25回	憲法	平和主義の原理について学ぶ。		
26回	民法 総則	行為能力について学ぶ。		
27回	ミクロ経済学 市場均衡 演習	図解問題が解けるようになる。		
28回	憲法 基本的人権	基本的人権の原理について学ぶ。		
29回	民法 総則	行為能力について学ぶ。		
30回	ミクロ経済学 余剰分析	完全競争市場における消費者余剰・生産者余剰が理解できる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	憲法 基本的人権	基本的人権の内容について学ぶ。
32 回	民法 総則	失踪宣告について学ぶ。
33 回	ミクロ経済学 余剰分析	課税・補助金など政府の政策による余剰の変化が理解できる。
34 回	憲法 基本的人権	人権の享有主体について学ぶ。
35 回	民法 総則	意思表示の不一致について学ぶ。
36 回	ミクロ経済学 余剰分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
37 回	経営学	企業の特徴について学ぶ。
38 回	政治学・行政学	行動論的政治学とその発展について学ぶ。
39 回	社会学	デュルケムと社会的事実について学ぶ。
40 回	経営学	企業の分類について学ぶ。
41 回	政治学・行政学	政治と権力について学ぶ。
42 回	社会学	デュルケムと社会的事実について学ぶ。
43 回	憲法 基本的人権	人権の享有主体について学ぶ。
44 回	民法 総則	心裡留保について学ぶ。
45 回	ミクロ経済学 貿易と余剰分析	貿易した際の社会的総余剰が理解できる。
46 回	憲法 基本的人権	人権と公共の福祉について学ぶ。
47 回	民法 総則	通謀虚偽表示について学ぶ。
48 回	ミクロ経済学 比較生産費説	2国間における比較生産費を比べることができる。
49 回	憲法 基本的人権	人権と公共の福祉について学ぶ。
50 回	民法 総則	錯誤について学ぶ。
51 回	ミクロ経済学 比較生産費説	生産可能性フロンティアをもとにして、2国間における貿易の条件が理解できる。
52 回	憲法 基本的人権	人権と公共の福祉について学ぶ。
53 回	民法 総則	錯誤について学ぶ。
54 回	ミクロ経済学 比較生産費説 演習	文章題・計算問題が解けるようになる。
55 回	憲法 基本的人権	特別権力関係について学ぶ。
56 回	民法 総則	詐欺について学ぶ。
57 回	ミクロ経済学 ゲーム理論	ゲーム理論におけるナッシュ均衡が求められるようになる。
58 回	経営学	企業の分類について学ぶ。
59 回	政治学・行政学	支配の正当性について学ぶ。
60 回	社会学	デュルケムと社会的事実について学ぶ。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		専員ビジネス科（Ⅱ種2年コー）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
61	経営学	株式会社の特徴について学ぶ。		
62	政治学・行政学	権力構造について学ぶ。		
63	社会学	パーソンズと社会秩序について学ぶ。		
64	憲法 基本的人権	私人間における人権の保障と限界について学ぶ。		
65	民法 総則	強迫について学ぶ。		
66	ミクロ経済学 ゲーム理論	ゼロ和ゲームにおけるミニマックス戦略が理解できる。		
67	憲法 基本的人権	私人間における人権の保障と限界について学ぶ。		
68	民法 総則	公序良俗違反による無効について学ぶ。		
69	ミクロ経済学 ゲーム理論 演習	文章題が解けるようになる。		
70	憲法 基本的人権	生命・自由・幸福追求権について学ぶ。		
71	民法 総則	法律行為の附款について学ぶ。		
72	ミクロ経済学 独占	独占市場における利潤最大化条件・余剰分析を理解できる。		
73	憲法 基本的人権	生命・自由・幸福追求権について学ぶ。		
74	民法 総則	法律行為の附款について学ぶ。		
75	ミクロ経済学 独占	ラーナーの独占度・差別価格戦略が理解できる。		
76	憲法 基本的人権	法の下での平等について学ぶ。		
77	民法 総則	権利の客体について学ぶ。		
78	ミクロ経済学 独占 演習	計算問題が解けるようになる。		
79	経営学	株式会社の仕組みについて学ぶ。		
80	政治学・行政学	権力構造について学ぶ。		
81	社会学	パーソンズと社会秩序について学ぶ。		
82	経営学	経営学：経済学から経営学へ		
83	政治学・行政学	政治学：政治的リーダーシップ		
84	社会学	パーソンズと社会秩序について学ぶ。		
85	憲法 基本的人権	法の下での平等について学ぶ。		
86	民法 総則	不動産登記について学ぶ。		
87	ミクロ経済学 独占 演習	計算問題が解けるようになる。		
88	憲法 基本的人権	精神的自由権の概観について学ぶ。		
89	民法 総則	代理とはについて学ぶ。		
90	ミクロ経済学 寡占	寡占市場におけるクールノー均衡を求めることができる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91回	憲法 基本的人権	思想・良心の自由について学ぶ。
92回	民法 総則	代理の効果と本人帰属要件について学ぶ。
93回	ミクロ経済学 寡占	寡占市場におけるシュタッケルベルグ均衡を求めることができる。
94回	憲法 基本的人権	信教の自由について学ぶ。
95回	民法 総則	無権代理について学ぶ。
96回	ミクロ経済学 寡占	寡占市場におけるカルテルの際の生産量を求めることができる。
97回	憲法 基本的人権	学問の自由について学ぶ。
98回	民法 総則	無権代理について学ぶ。
99回	ミクロ経済学 寡占	屈折需要曲線が理解できる。
100回	経営学	テイラーと科学的管理法について学ぶ。
101回	政治学・行政学	政治的リーダーシップについて学ぶ。
102回	社会学	ルーマンと社会学的啓蒙について学ぶ。
103回	経営学	テイラーと科学的管理法について学ぶ。
104回	政治学・行政学	政治思想とイデオロギーについて学ぶ。
105回	社会学	ルーマンと社会学的啓蒙について学ぶ。
106回	憲法 基本的人権	表現の自由の意味について学ぶ。
107回	民法 総則	表見代理について学ぶ。
108回	ミクロ経済学 寡占 演習	計算問題が解けるようになる。
109回	憲法 基本的人権	表現の自由の内容について学ぶ。
110回	民法 総則	表見代理について学ぶ。
111回	ミクロ経済学 寡占 演習	計算問題が解けるようになる。
112回	憲法 基本的人権	表現の自由の限界について学ぶ。
113回	民法 総則	法人とはについて学ぶ。
114回	ミクロ経済学 外部効果	外部効果による余剰分析をすることができる。
115回	憲法 基本的人権	集会・結社の自由と通信の秘密について学ぶ。
116回	民法 総則	法人の設立と機関について学ぶ。
117回	ミクロ経済学 外部効果 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
118回	憲法 基本的人権	経済的自由権の概観について学ぶ。
119回	民法 総則	法人の能力について学ぶ。
120回	ミクロ経済学 費用逓減産業	費用逓減産業における利潤最大化を理解できる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		専員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
121	経営学	テイラーと科学的管理法について学ぶ。		
122	政治学・行政学	政治思想とイデオロギーについて学ぶ。		
123	社会学	ルーマンと社会学的啓蒙について学ぶ。		
124	経営学	ヘンリー・フォードとフォードシステムについて学ぶ。		
125	政治学・行政学	デモクラシーの理論について学ぶ。		
126	社会学	コールマンと合理的選択理論について学ぶ。		
127	憲法 基本的人権	職業選択の自由について学ぶ。		
128	民法 総則	法人の能力について学ぶ。		
129	ミクロ経済学 費用逓減産業	限界費用価格形成原理・平均費用価格形成原理が理解できる。		
130	憲法 基本的人権	居住・移転の自由について学ぶ。		
131	民法 総則	法人の能力について学ぶ。		
132	ミクロ経済学 費用逓減産業 演習	図解問題が解けるようになる。		
133	憲法 基本的人権	財産権の保障について学ぶ。		
134	民法 総則	権利能力のない社団について学ぶ。		
135	ミクロ経済学 情報の非対称性	逆選択・モラルハザードが理解できる。		
136	憲法 基本的人権	人身の自由の基本原則について学ぶ。		
137	民法 総則	時効とはについて学ぶ。		
138	ミクロ経済学 消費者理論	効用関数・無差別曲線が理解できる。		
139	憲法 基本的人権	奴隷的拘束からの自由と適正手続について学ぶ。		
140	民法 総則	取得時効の要件について学ぶ。		
141	ミクロ経済学 消費者理論	無差別曲線・限界代替率が理解できる。		
142	経営学	フォーディズムから人間関係論への変遷を学ぶ。		
143	政治学・行政学	デモクラシーの理論について学ぶ。		
144	社会学	コールマンと合理的選択理論について学ぶ。		
145	経営学	ファヨールと管理過程論について学ぶ。		
146	政治学・行政学	現代社会における国家について学ぶ。		
147	社会学	コールマンと合理的選択理論について学ぶ。		
148	憲法 基本的人権	被疑者の権利について学ぶ		
149	民法 総則	消滅時効の要件について学ぶ。		
150	ミクロ経済学 消費者理論	予算制約線・効用最大化条件が理解できる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151	憲法 回 基本的人権	被告人の権利について学ぶ
152	民法 回 総則	時効の中断について学ぶ。
153	ミクロ経済学 回 消費者理論 演習	計算問題が解けるようになる。
154	憲法 回 基本的人権	請願権と裁判を受ける自由について学ぶ。
155	民法 回 総則	時効の援用について学ぶ。
156	ミクロ経済学 回 消費者理論	需要の所得弾力性を理解し、財の性質を理解できる。
157	憲法 回 基本的人権	国家賠償および補償請求権について学ぶ。
158	民法 回 物権	物権とはについて学ぶ。
159	ミクロ経済学 回 消費者理論	代替効果・所得効果を理解できる。
160	憲法 回 基本的人権	参政権について学ぶ
161	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
162	ミクロ経済学 回 消費者理論	需要の交差弾力性を理解できる。
163	経営学 回	ファヨールと管理過程論について学ぶ。
164	政治学・行政学 回	現代社会における国家について学ぶ。
165	社会学 回	マルクスと資本主義批判について学ぶ。
166	経営学 回	メイヨーと人間関係論について学ぶ。
167	政治学・行政学 回	近代国家と議会政治について学ぶ。
168	社会学 回	マルクスと資本主義批判について学ぶ。
169	憲法 回 基本的人権	社会権の概観について学ぶ。
170	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
171	ミクロ経済学 回 消費者理論	色々な無差別曲線における効用最大化となる点を理解できる。
172	憲法 回 基本的人権	生存権について学ぶ
173	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
174	ミクロ経済学 回 消費者理論 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
175	憲法 回 基本的人権	教育を受ける権利について学ぶ。
176	民法 回 物権	所有権について学ぶ。
177	ミクロ経済学 回 最適労働供給	効用を最大とする最適労働供給を求めることができる。
178	憲法 回 基本的人権	労働基本権について学ぶ
179	民法 回 物権	共有について学ぶ。
180	ミクロ経済学 回 最適労働供給 演習	計算問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
181	憲法	統治機構の概観について学ぶ。		
182	民法 物権	占有権について学ぶ。		
183	ミクロ経済学 2期点間消費	2期点間における消費において効用最大化する消費を求めることができる。		
184	経営学	人間関係論（照明実験とホーソン工場の実験）について学ぶ。		
185	政治学・行政学	近代国家と議会政治について学ぶ。		
186	社会学	マルクスと資本主義批判について学ぶ。		
187	経営学	人間関係論と科学的管理法を比較し、理解を深める。		
188	政治学・行政学	政治学：近代国家と政治原理		
189	社会学	ウェーバーと理解社会学について学ぶ。		
190	憲法	国会の地位について学ぶ。		
191	民法 物権	占有権について学ぶ。		
192	ミクロ経済学 2期点間消費 演習	計算問題が解けるようになる。		
193	憲法	国会の組織と活動について学ぶ。		
194	民法 物権	占有権について学ぶ。		
195	ミクロ経済学 経済厚生	エッジワース・ボックスダイアグラムにおけるパレート最適な点を求めることができる。		
196	憲法	国会と議員の権能について学ぶ。		
197	民法 物権	用益物権について学ぶ。		
198	ミクロ経済学 経済厚生 演習	図解問題が解けるようになる。		
199	憲法	行政権と内閣について学ぶ。		
200	民法 物権	物権変動とはについて学ぶ。		
201	ミクロ経済学 期待効用仮説	期待効用仮説の考え方を理解できる。		
202	憲法	内閣の組織と権能について学ぶ。		
203	民法 物権	物権変動の時期と対抗要件について学ぶ。		
204	ミクロ経済学 期待効用仮説 演習	計算問題が解けるようになる。		
205	経営学	行動科学の概要を学び、フォレットの統合理論フォレットについて学ぶ。		
206	政治学・行政学	近代国家と政治原理について学ぶ。		
207	社会学	ウェーバーと理解社会学について学ぶ。		
208	経営学	行動科学に関するリッカートの主な理論を学ぶ。		
209	政治学・行政学	主要諸国の政治制度について学ぶ。		
210	社会学	ウェーバーと理解社会学について学ぶ。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
211 回	憲法	議院内閣制について学ぶ。
212 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
213 回	ミクロ経済学 公共財	公共財の性質・最適供給量を理解できる。
214 回	憲法	司法権の意味と範囲、その限界について学ぶ。
215 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
216 回	ミクロ経済学 公共財 演習	計算問題が解けるようになる。
217 回	憲法	裁判所の組織と権能について学ぶ。
218 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
219 回	ミクロ経済学 2要素生産関数	生産における資本・労働の需要について理解できる。
220 回	憲法	司法権の独立の意義と内容について学ぶ。
221 回	統治 民法 物権	不動産の物権変動について学ぶ。
222 回	ミクロ経済学 2要素生産関数	費用最小化となる資本・労働量の求め方を理解できる。
223 回	憲法	財政について学ぶ。
224 回	統治 民法 物権	動産の物権変動について学ぶ。
225 回	ミクロ経済学 2要素生産関数 演習	計算問題が解けるようになる。
226 回	経営学	行動科学に関するアージリスの主な理論を学ぶ。
227 回	政治学・行政学	現代の行政国家について学ぶ。
228 回	社会学	マンハイムと知識社会学について学ぶ。
229 回	経営学	マズローの欲求階層説について学ぶ。
230 回	政治学・行政学	現代の行政国家について学ぶ。
231 回	社会学	マンハイムと知識社会学について学ぶ。
232 回	憲法	地方自治について学ぶ。
233 回	統治 民法 物権	即時取得について学ぶ。
234 回	ミクロ経済学 長期均衡	長期均衡における生産量・参入可能な企業数を求めることができる。
235 回	憲法	抵抗権と国家緊急権について学ぶ。
236 回	統治 民法 物権	即時取得について学ぶ。
237 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
238 回	憲法	違憲審査制について学ぶ。
239 回	統治 民法 物権	即時取得について学ぶ。
240 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		680	時間 職員ビジネス科（Ⅱ種2年コー）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
241	憲法	憲法の改正手続きと限界について学ぶ。	
242	民法 物権	担保物権について学ぶ。	
243	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
244	憲法	憲法論文の書き方を学び、練習する。	
245	民法 物権	担保物権について学ぶ。	
246	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
247	経営学	行動科学に関するマグレガーの理論を学ぶ。	
248	政治学・行政学	現代社会と官僚制について学ぶ。	
249	社会学	マンハイムと知識社会学について学ぶ。	
250	経営学	行動科学に関するハーズバーグの理論を学ぶ。	
251	政治学・行政学	現代社会と官僚制について学ぶ。	
252	社会学	ハーバーマスとコミュニケーション的行為について学ぶ。	
253	行政法	行政と行政法について学ぶ。	
254	民法 物権	法定担保物権（留置権）について学ぶ。	
255	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
256	行政法	行政法の法源と行政法の分類について学ぶ。	
257	民法 物権	法定担保物権（先取特権）について学ぶ。	
258	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
259	行政法	行為の種別について学ぶ。	
260	民法 物権	質権について学ぶ。	
261	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
262	行政法	行為の種別について学ぶ。	
263	民法 物権	質権について学ぶ。	
264	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
265	行政法	行政活動の主体について学ぶ。	
266	民法 物権	抵当権について学ぶ。	
267	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
268	経営学	近代管理論とバーナード革命について学ぶ。	
269	政治学・行政学	議会と立法過程について学ぶ。	
270	社会学	ハーバーマスとコミュニケーション的行為について学ぶ。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
271 回	経営学	サイモンの意思決定論について学ぶ。
272 回	政治学・行政学	議会と立法過程について学ぶ。
273 回	社会学	ハーバーマスとコミュニケーション的行動について学ぶ。
274 回	行政法	行政組織の構成について学ぶ。
275 回	民法 物権	抵当権について学ぶ。
276 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
277 回	行政法	委任，代理，専決・代決について学ぶ。
278 回	民法 物権	抵当権の効力について学ぶ。
279 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
280 回	行政法	行政上の事務処理の方式（民間委託など）について学ぶ。
281 回	民法 物権	抵当権の効力について学ぶ。
282 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
283 回	行政法	法律による行政とその内容について学ぶ。
284 回	民法 物権	目的物利用権と抵当権について学ぶ。
285 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
286 回	行政法	法律の留保の原則について学ぶ。
287 回	民法 物権	目的物利用権と抵当権について学ぶ。
288 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
289 回	経営学	意思決定論とコンティンジェンシー理論について学ぶ。
290 回	政治学・行政学	選挙制度について学ぶ。
291 回	社会学	フーコーと主体の系譜学について学ぶ。
292 回	経営学	組織間関係論について学ぶ。
293 回	政治学・行政学	選挙制度について学ぶ。
294 回	社会学	フーコーと主体の系譜学について学ぶ。
295 回	行政法	法治主義と違法性について学ぶ。
296 回	民法 物権	抵当不動産の第三取得者等について学ぶ。
297 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
298 回	行政法	行政裁量とはについて学ぶ。
299 回	民法 物権	抵当不動産の第三取得者等について学ぶ。
300 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		職員ビジネス科（Ⅱ種2年コー）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
301	行政法	行政裁量の行使の適正化について学ぶ。		
302	民法 物権	抵当不動産の第三取得者等について学ぶ。		
303	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		
304	行政法	行政裁量と司法審査について学ぶ。		
305	民法 物権	物権の復習		
306	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		
307	行政法	行政裁量の司法審査の基準と方法について学ぶ。		
308	民法 物権	物権の復習		
309	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		
310	経営学	経営組織の特徴について学ぶ。		
311	政治学・行政学	政策と政策過程について学ぶ。		
312	社会学	フーコーと主体の系譜学について学ぶ。		
313	経営学	伝統的組織論と新古典的組織論について学ぶ。		
314	政治学・行政学	政策と政策過程について学ぶ。		
315	社会学	ジンメルと個別科学としての社会学について学ぶ。		
316	行政法	行政立法とは何かについて学ぶ。		
317	民法 債権	債権の全体像について学ぶ。		
318	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		
319	行政法	行政規範の種類、形式、委任と法的拘束力について学ぶ。		
320	民法 債権	債務不履行について学ぶ。		
321	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		
322	行政法	条例、通達について学ぶ。		
323	民法 債権	債務不履行について学ぶ。		
324	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		
325	行政法	行政処分とは何かについて学ぶ。		
326	民法 債権	債務不履行について学ぶ。		
327	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		
328	行政法	行政処分の成立過程について学ぶ。		
329	民法 債権	受領遅滞について学ぶ。		
330	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
331 回	経営学	近代組織論について学ぶ。
332 回	政治学・行政学	現代政治と政党について学ぶ。
333 回	社会学	ジンメルと個別科学としての社会学について学ぶ。
334 回	経営学	基本的な組織形態（ライン組織とファンクショナル組織）について学ぶ。
335 回	政治学・行政学	政治社会と政党制について学ぶ。
336 回	社会学	ジンメルと個別科学としての社会学について学ぶ。
337 回	行政法	行政処分の附款について学ぶ。
338 回	民法 債権	受領遅滞について学ぶ。
339 回	ミクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
340 回	行政法	行政処分の成立と効力の発生について学ぶ。
341 回	民法 債権	債務者の責任財産について学ぶ。
342 回	マクロ経済学 導入	マクロ経済学の基本的な考え方が理解できる。
343 回	行政法	行政処分の効力について学ぶ。
344 回	民法 債権	債権者代位権について学ぶ。
345 回	マクロ経済学 財市場の分析	国民所得の決定について理解し、計算できる。
346 回	行政法	公定力と訴訟について学ぶ。
347 回	民法 債権	債権者代位権について学ぶ。
348 回	マクロ経済学 財市場の分析	乗数理論を理解できる。
349 回	行政法	行政処分の当然無効について学ぶ。
350 回	民法 債権	債権者代位権について学ぶ。
351 回	マクロ経済学 財市場の分析	均衡予算乗数を理解し、計算できる。
352 回	経営学	ライン・アンド・スタッフ組織について学ぶ。
353 回	政治学・行政学	政治社会と政党制について学ぶ。
354 回	社会学	シュッツと現象学的社会学について学ぶ。
355 回	経営学	職能部門制組織と事業部制組織について学ぶ。
356 回	政治学・行政学	圧力団体と住民運動について学ぶ。
357 回	社会学	シュッツと現象学的社会学について学ぶ。
358 回	行政法	行政処分の変更可能性について学ぶ。
359 回	民法 債権	詐害行為取消権について学ぶ。
360 回	マクロ経済学 財市場の分析 演習	計算問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
361	行政法	行政処分の取消し（職権取消し）について学ぶ。		
362	民法 債権	詐害行為取消権について学ぶ。		
363	マクロ経済学 財市場の分析	インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップを理解できる。		
364	行政法	行政処分の取消し（侵害処分の取消し受益処分の取消し）について学ぶ。		
365	民法 債権	詐害行為取消権について学ぶ。		
366	マクロ経済学 財市場の分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。		
367	行政法	行政処分の撤回について学ぶ。		
368	民法 債権	債権の消滅について学ぶ。		
369	マクロ経済学 IS-LM分析	投資関数を理解できる。		
370	行政法	行政上の強制執行，自力救済の禁止と行政的強制について学ぶ。		
371	民法 債権	弁済について学ぶ。		
372	マクロ経済学 IS-LM分析	IS曲線の導出が理解できる。		
373	経営学	事業部制組織の特徴について学ぶ。		
374	政治学・行政学	圧力団体と住民運動について学ぶ。		
375	社会学	シュッツと現象学的社会学について学ぶ。		
376	経営学	ブランド・マネージャー制とプロジェクト組織について学ぶ。		
377	政治学・行政学	現代の政治過程について学ぶ。		
378	社会学	社会変化とG. H. ミードの社会学について学ぶ。		
379	行政法	行政上の強制執行の種類について学ぶ。		
380	民法 債権	弁済について学ぶ。		
381	マクロ経済学 IS-LM分析	財政政策による影響、財市場における超過需要・超過供給が理解できる。		
382	行政法	行政上の代執行について学ぶ。		
383	民法 債権	相殺について学ぶ。		
384	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。		
385	行政法	行政上の強制執行が使い得ない倍の義務履行の確保の手段について学ぶ。		
386	民法 債権	相殺について学ぶ。		
387	マクロ経済学 IS-LM分析	中央銀行の役割・貨幣について理解できる。		
388	行政法	行政上の即時強制について学ぶ。		
389	民法 債権	相殺について学ぶ。		
390	マクロ経済学 IS-LM分析	信用創造のしくみ・信用乗数が理解できる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
391 回	行政法	行政上の制裁とその種類について学ぶ。
392 回	民法 債権	多数当事者の債権関係について学ぶ。
393 回	マクロ経済学 IS-LM分析	債券と貨幣需要の関係が理解できる。
394 回	経営学	マトリックス組織について学ぶ。
395 回	政治学・行政学	政治意識と投票行動について学ぶ。
396 回	社会学	社会変化とG. H. ミードの社会学について学ぶ。
397 回	経営学	戦略的事業単位について学ぶ。
398 回	政治学・行政学	政治的コミュニケーションについて学ぶ。
399 回	社会学	社会変化とG. H. ミードの社会学について学ぶ。
400 回	行政法	行政サービスの提供の拒否，公表について学ぶ。
401 回	民法 債権	多数当事者の債権関係について学ぶ。
402 回	マクロ経済学 IS-LM分析	貨幣需要と利子率の関係が理解できる。
403 回	行政法	行政指導とは何か，行政指導の必要性について学ぶ。
404 回	民法 債権	不可分債権・債務について学ぶ。
405 回	マクロ経済学 IS-LM分析	貨幣供給量をもとにした利子率の決定について理解できる。
406 回	行政法	行政指導の分類と法律の授権について学ぶ。
407 回	民法 債権	連帯債務について学ぶ。
408 回	マクロ経済学 IS-LM分析	LM曲線の導出が理解できる。
409 回	行政法	行政指導に対する実体的規制と形式的規制について学ぶ。
410 回	民法 債権	連帯債務について学ぶ。
411 回	マクロ経済学 IS-LM分析	金融政策による影響・貨幣市場における超過需要・超過供給が理解できる。
412 回	行政法	行政指導の中止と実施の求めについて学ぶ。
413 回	民法 債権	保証債務について学ぶ。
414 回	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	文章題・図解問題が解けるようになる。
415 回	経営学	経営管理論から経営戦略論へについて学ぶ。
416 回	政治学・行政学	大衆社会の政治について学ぶ。
417 回	社会学	ブルーマーとシンボリック相互作用論について学ぶ。
418 回	経営学	競争戦略論について学ぶ。
419 回	政治学・行政学	大衆社会の政治について学ぶ。
420 回	社会学	ブルーマーとシンボリック相互作用論について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		680	時間 職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
421	行政法	行政計画とその種類について学ぶ。	
422	民法 債権	保証債務について学ぶ。	
423	マクロ経済学 IS-LM分析	均衡利子率・均衡国民所得を求めることができる。	
424	行政法	行政計画の策定と法律の授権について学ぶ。	
425	民法 債権	債権の譲渡について学ぶ。	
426	マクロ経済学 IS-LM分析	財政政策の有効性・金融政策の有効性が理解できる。	
427	行政法	行政計画に対する法的規制と行政計画の変更について学ぶ。	
428	民法 債権	債権の譲渡について学ぶ。	
429	マクロ経済学 IS-LM分析	財政政策の有効性・金融政策の有効性が理解できる。	
430	行政法	行政計画に対する救済方法と提案制度について学ぶ。	
431	民法 債権	債権の譲渡について学ぶ。	
432	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。	
433	行政法	行政契約とは、行政契約の種類と役割について学ぶ。	
434	民法 債権	債権の引受けについて学ぶ。	
435	マクロ経済学 IS-LM分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。	
436	経営学	競争戦略論について学ぶ。	
437	政治学・行政学	日本の政治について学ぶ。	
438	社会学	ブルーマーとシンボリック相互作用論について学ぶ。	
439	経営学	競争戦略論について学ぶ。	
440	政治学・行政学	日本の政治について学ぶ。	
441	社会学	ゴフマンと共在の社会学について学ぶ。	
442	行政法	行政契約の許容性と一般的な法的取扱いについて学ぶ。	
443	民法 債権	債権の引受けについて学ぶ。	
444	マクロ経済学 国民経済計算	GDP、GNPなどの構成が理解できる。	
445	行政法	行政契約の手續と、行政契約の訴訟（不履行と履行強制）について学ぶ。	
446	民法 債権	契約とはについて学ぶ。	
447	マクロ経済学 国民経済計算	物価指数について理解できる。	
448	行政法	行政調査について学ぶ。	
449	民法 債権	同時履行の抗弁権について学ぶ。	
450	マクロ経済学 国民経済計算	三面等価の原則を理解できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
451 回	行政法	行政調査と法律の授権について学ぶ。
452 回	民法 債権	同時履行の抗弁権について学ぶ。
453 回	マクロ経済学 国民経済計算 演習	計算問題が解けるようになる。
454 回	行政法	行政調査の規制、違法と行政処分取消しについて学ぶ。
455 回	民法 債権	危険負担について学ぶ。
456 回	マクロ経済学 国民経済計算	産業連関表の読み方が理解できる。
457 回	経営学	戦略のフレームワークについて学ぶ。
458 回	政治学・行政学	日本の政治について学ぶ。
459 回	社会学	ゴフマンと共在の社会学について学ぶ。
460 回	経営学	創発型戦略論について学ぶ。
461 回	政治学・行政学	国際政治について学ぶ。
462 回	社会学	ゴフマンと共在の社会学について学ぶ。
463 回	行政法	行政調査により取得された情報の目的外利用について学ぶ。
464 回	民法 債権	契約の解除について学ぶ。
465 回	マクロ経済学 国民経済計算 演習	計算問題が解けるようになる。
466 回	行政法	届出について学ぶ。
467 回	民法 債権	契約の解除について学ぶ。
468 回	マクロ経済学 AD-AS分析	AD曲線の導出が理解できる。
469 回	行政法	行政統制の諸制度（議会等による統制・監視と市民オンブズマン）について学ぶ。
470 回	民法 債権	売買契約の内容について学ぶ。
471 回	マクロ経済学 AD-AS分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。
472 回	行政法	行政統制の諸制度（不服申立てと訴訟）について学ぶ。
473 回	民法 債権	売買契約の内容について学ぶ。
474 回	マクロ経済学 AD-AS分析	労働需要と労働供給について理解できる。
475 回	行政法	行政手続の概念・種別・有用性について学ぶ。
476 回	民法 債権	売主の担保責任について学ぶ。
477 回	マクロ経済学 AD-AS分析	学派によるAS曲線の違いを理解できる。
478 回	経営学	人事管理とはについて学ぶ。
479 回	政治学・行政学	行政とは何かについて学ぶ。
480 回	社会学	エスノメソドロジーについて学ぶ。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		専員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
481	経営学	リーダーシップについて学ぶ。		
482	政治学・行政学	行政とは何かについての概論を学ぶ。		
483	社会学	エスノメソドロジーについて学ぶ。		
484	行政法	行政手続法の目的規定と適用除外について学ぶ。		
485	民法 債権	売主の担保責任について学ぶ。		
486	マクロ経済学 AD-AS分析	財政政策・金融政策を行った際のAD-AS曲線による均衡点の変化を理解できる。		
487	行政法	行政手続法上の具体的仕組みについて学ぶ。		
488	民法 債権	売主の担保責任について学ぶ。		
489	マクロ経済学 AD-AS分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。		
490	行政法	行政手続の違法と行政処分取消しについて学ぶ。		
491	民法 債権	賃貸借契約とはについて学ぶ。		
492	マクロ経済学 AD-AS分析 演習	計算問題・図解問題が解けるようになる。		
493	行政法	情報公開と個人情報保護について学ぶ。		
494	民法 債権	貸主の義務・借主の義務について学ぶ。		
495	マクロ経済学 AD-AS分析	学派による考え方の違いが理解できる。		
496	行政法	情報公開と個人情報保護について学ぶ。		
497	民法 債権	賃借権の譲渡について学ぶ。		
498	マクロ経済学 AD-AS分析	インフレの種類とフィリップス曲線が理解できる。		
499	経営学	リーダーシップについての主な理論を学ぶ。		
500	政治学・行政学	大きくない政府の役割について学ぶ。		
501	社会学	エスノメソドロジーについて学ぶ。		
502	経営学	教育とジョブ・ローテーションと人材開発、組織開発について学ぶ。		
503	政治学・行政学	大きくない政府の役割について学ぶ。		
504	社会学	ブルデューあるいは二重の絶縁の戦略について学ぶ。		
505	行政法	行政不服申立て（行政不服審査法）の基本的特質について学ぶ。		
506	民法 債権	賃借権の転貸について学ぶ。		
507	マクロ経済学 消費理論と投資理論	三大消費仮説が理解できる。		
508	行政法	行政不服申立ての要件について学ぶ。		
509	民法 債権	賃借目的物の譲受人について学ぶ。		
510	マクロ経済学 消費理論と投資理論	学派による投資への考え方の違いを理解できる。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
511 回	行政法	行政不服申立ての手續等について学ぶ。
512 回	民法 債権	賃借目的物の不法占拠者等について学ぶ。
513 回	マクロ経済学 消費理論と投資理論	文章題・計算問題が解けるようになる。
514 回	行政法	原処分主義，不服申立てと訴訟について学ぶ。
515 回	民法 債権	贈与契約について学ぶ。
516 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	国際収支統計を理解し、経常収支の決定理論を理解できる。
517 回	行政法	行政事件訴訟の種類と概観について学ぶ。
518 回	民法 債権	消費貸借契約について学ぶ。
519 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	外国為替市場を理解し、国際収支均衡の赤字・黒字が理解できる。
520 回	経営学	マーケティング・コンセプトの変遷について学ぶ。
521 回	政治学・行政学	行政学の概論について学ぶ。
522 回	社会学	ブルデューあるいは二重の絶縁の戦略について学ぶ。
523 回	経営学	マーケティングの戦略について学ぶ。
524 回	政治学・行政学	行政学の概論について学ぶ。
525 回	社会学	ブルデューあるいは二重の絶縁の戦略について学ぶ。
526 回	行政法	取消訴訟の提起と教示制度について学ぶ。
527 回	民法 債権	請負契約について学ぶ。
528 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	固定相場制におけるマンデル＝フレミングモデルによる政策の有効性を理解できる。
529 回	行政法	取消訴訟の訴訟要件について学ぶ。
530 回	民法 債権	委任契約について学ぶ。
531 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	変動相場制におけるマンデル＝フレミングモデルによる政策の有効性を理解できる。
532 回	行政法	取消訴訟の処分性についてについて学ぶ。
533 回	民法 債権	事務管理について学ぶ。
534 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学	ポリシー＝ミックスの考え方が理解できる。
535 回	行政法	取消訴訟の処分性についてについて学ぶ。
536 回	民法 債権	不当利得について学ぶ。
537 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学 演	文章題・図解問題が解けるようになる。
538 回	行政法	取消訴訟の原告適格について学ぶ。
539 回	民法 債権	不当利得について学ぶ。
540 回	マクロ経済学 国際マクロ経済学 演	文章題・図解問題が解けるようになる。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		680	時間 教員 ビジネス科（Ⅱ種2年コー）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
541	経営学	マーケティングの個別戦略について学ぶ。	
542	政治学・行政学	新しい行政の見方について学ぶ。	
543	社会学	ギデンズとモダニティの社会学について学ぶ。	
544	経営学	マーケティングの個別戦略について学ぶ。	
545	政治学・行政学	新しい行政の見方について学ぶ。	
546	社会学	ギデンズとモダニティの社会学について学ぶ。	
547	行政法	取消訴訟の原告適格について学ぶ。	
548	民法 債権	不法行為について学ぶ。	
549	マクロ経済学 成長理論	景気循環と成長理論を用いて計算できる。	
550	行政法	取消訴訟の原告適格について学ぶ。	
551	民法 債権	不法行為について学ぶ。	
552	マクロ経済学 成長理論	ハロッド＝ドーマーの成長理論が理解できる。	
553	行政法	取消訴訟の審理と判決について学ぶ。	
554	民法 債権	特殊な不法行為（監督者責任）について学ぶ。	
555	マクロ経済学 成長理論 演習	文章題・計算問題が解けるようになる。	
556	行政法	取消訴訟の判決の効力と事情判決について学ぶ。	
557	民法 債権	特殊な不法行為（監督者責任）について学ぶ。	
558	マクロ経済学 成長理論	ソロー＝スワンモデルの計算ができるようになる。	
559	行政法	その他の行政訴訟（無効確認訴訟，不作為の違法確認訴訟など）について学ぶ。	
560	民法 債権	特殊な不法行為（使用者責任）について学ぶ。	
561	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
562	経営学	生産管理論の変遷について学ぶ。	
563	政治学・行政学	国と自治体を動かす仕組みについて学ぶ。	
564	社会学	ギデンズとモダニティの社会学について学ぶ。	
565	経営学	様々な生産管理システムについて学ぶ。	
566	政治学・行政学	国と自治体を動かす仕組みについて学ぶ。	
567	社会学	社会学の論文の書き方について学ぶ。	
568	行政法	その他の行政訴訟（義務付け訴訟，差止訴訟など）について学ぶ。	
569	民法 債権	特殊な不法行為（共同不法行為）について学ぶ。	
570	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
571 回	行政法	行政事件における仮の救済（仮の義務付け、仮の差止めなど）について学ぶ。
572 回	民法 親族・相続	親族関係の全体像を学ぶ。
573 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
574 回	行政法	行政事件における仮の救済（執行不停止の原則と、執行停止制度）について学ぶ。
575 回	民法 親族・相続	婚姻の成立について学ぶ。
576 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
577 回	行政法	公権力無責任原則と公権力行使の責任の性質について学ぶ。
578 回	民法 親族・相続	婚姻の効果について学ぶ。
579 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
580 回	行政法	国会賠償法1条1項の適用範囲について学ぶ。
581 回	民法 親族・相続	婚姻の効果について学ぶ。
582 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
583 回	経営学	財務管理論の基本について学ぶ。
584 回	政治学・行政学	政府の姿について学ぶ。
585 回	社会学	社会学の論文の書き方について学び、練習する。
586 回	経営学	財務分析の基本について学ぶ。
587 回	政治学・行政学	政府の姿について学ぶ。
588 回	社会学	総合演習
589 回	行政法	公権力行使責任の要件（公務と外形主義など）について学ぶ。
590 回	民法 親族・相続	婚姻の解消について学ぶ。
591 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
592 回	行政法	公権力行使責任の要件（違法性など）について学ぶ。
593 回	民法 親族・相続	親子（実子）について学ぶ。
594 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
595 回	行政法	公権力行使責任の要件（故意・過失など）について学ぶ。
596 回	民法 親族・相続	親子（実子）について学ぶ。
597 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。
598 回	行政法	公権力行使責任の要件（規制権限の不行使による国家賠償責任）について学ぶ。
599 回	民法 親族・相続	親子（養子）について学ぶ。
600 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。

科目名		科目時間総数	教員名
社会科学		680	職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
601 回	行政法	公務員個人の賠償責任と公権力行使責任の主体について学ぶ。	
602 回	民法 親族・相続	親子（養子）について学ぶ。	
603 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
604 回	経営学	損益分岐点分析等について学ぶ。	
605 回	政治学・行政学	行政を担う人々について学ぶ。	
606 回	社会学	総合演習	
607 回	経営学	日本的経営論について学ぶ。	
608 回	政治学・行政学	行政を担う人々について学ぶ。	
609 回	社会学	総合演習	
610 回	行政法	公の営造物管理責任とその性質について学ぶ。	
611 回	民法 親族・相続	親権について学ぶ。	
612 回	マクロ経済学 演習	過去の問題を解くことができる。	
613 回	行政法	国家賠償法2条1項の適用範囲と「設置・管理の瑕疵」の意味について学ぶ。	
614 回	民法 親族・相続	親権について学ぶ。	
615 回	経済学	経済学の論文の書き方について学ぶ。	
616 回	行政法	公の営造物の「設置・管理の瑕疵」の意味について学ぶ。	
617 回	民法 親族・相続	相続の概要について学ぶ。	
618 回	経済学	経済学の論文の書き方について学ぶ。	
619 回	行政法	水害と国家賠償責任について学ぶ。	
620 回	民法 親族・相続	相続権者について学ぶ。	
621 回	経済学	経済学の論文の書き方を学び、練習する。	
622 回	行政法	損失補償について学ぶ。	
623 回	民法 親族・相続	相続権の喪失・放棄について学ぶ。	
624 回	経済学	経済学の論文の書き方を学び、練習する。	
625 回	経営学	日本的経営論の長所と短所等について学ぶ。	
626 回	政治学・行政学	変化にする日本の行政について学ぶ。	
627 回	社会学	総合演習	
628 回	経営学	経営学：現代社会と企業について学ぶ。	
629 回	政治学・行政学	行政学：変化する日本の行政について学ぶ。	
630 回	社会学	総合演習	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
631 回	行政法	損失補償について学ぶ。
632 回	民法 親族・相続	法定相続分について学ぶ。
633 回	経済学	総合演習
634 回	行政法	損失補償の法的根拠，損失補償が認められるための要件について学ぶ。
635 回	民法 親族・相続	特別受益について学ぶ。
636 回	経済学	総合演習
637 回	行政法	損失補償の額の決定方法について学ぶ。
638 回	民法 親族・相続	寄与分について学ぶ。
639 回	経済学	総合演習
640 回	行政法	損失補償の義務者と訴訟の方法
641 回	民法 親族・相続	遺言について学ぶ。
642 回	経済学	総合演習
643 回	行政法	行政法の論文の書き方
644 回	民法 親族・相続	遺言について学ぶ。
645 回	経済学	総合演習
646 回	経営学	企業の国際化と国際的な企業結合について学ぶ。
647 回	政治学・行政学	行政活動をデザインするについて学ぶ。
648 回	社会学	総合演習
649 回	経営学	情報化と新しいビジネスモデルについて学ぶ。
650 回	政治学・行政学	行政活動をデザインするについて学ぶ。
651 回	社会学	総合演習
652 回	憲法・行政法	総合演習：憲法
653 回	民法 親族・相続	民法：論文の書き方
654 回	経済学	総合演習
655 回	憲法・行政法	総合演習：行政法
656 回	民法 親族・相続	民法：論文の書き方
657 回	経済学	総合演習
658 回	憲法・行政法	総合演習：憲法
659 回	民法 親族・相続	民法：総合演習
660 回	経済学	総合演習

科目名		科目時間総数	時間	教員名
社会科学		680		職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
661 回	憲法・行政法	総合演習：行政法		
662 回	民法	総合演習		
663 回	経済学	総合演習		
664 回	憲法・行政法	総合演習：憲法		
665 回	民法	総合演習		
666 回	経済学	総合演習		
667 回	経営学	組織文化とリスク・マネジメントについて学ぶ。		
668 回	政治学・行政学	法律・条例の作成について学ぶ。		
669 回	社会学	総合演習		
670 回	経営学	企業の社会的責任と社会貢献について学ぶ。		
671 回	政治学・行政学	法律・条例を作成について学ぶ。		
672 回	社会学	総合演習		
673 回	政治学・行政学	予算を作成について学ぶ。		
674 回	憲法・行政法	総合演習：行政法		
675 回	民法	民法：総合演習		
676 回	経済学	総合演習		
677 回	政治学・行政学	行政と社会のインターフェースについて学ぶ。		
678 回	憲法・行政法	総合演習：行政法		
679 回	民法	民法：総合演習		
680 回	経済学	総合演習		

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">人文科学</p>	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
	担当教員	夕向政広
科目時間数 ： 140 時間	授業の種類 ：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： 必修 ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期 ：	1年次4月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験における一次試験突破に向けた基礎学力の向上を目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義を通じて政治経済の知識を習得し、問題演習を通じて公務員試験本番での得点力向上を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 知識の丸暗記に走ることなく、理解に重点を置き、応用問題が出題されたときであっても基本的な知識から解答を導き出せるようになる。</p>		
使用教材	出版社	
公務員合格セミナー人文科学テキスト初級本科	実務教育出版	
公務員合格セミナー人文科学確認ワーク初級本科	実務教育出版	
公務員合格セミナー人文科学演習ブック初級本科	実務教育出版	
公務員合格セミナー人文科学演習ブック（正答と解説）初級本科	実務教育出版	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>		
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>		
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>		
<p>【担当職員の実務経験】</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		140	時間
教育に含むべき事項・テーマ		主要学習内容と到達目標	
1	縄文、弥生、古墳時代、律令国家①	旧石器時代、縄文時代、弥生時代、縄文文化と弥生文化について学び、内容を理解する。	職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
2	古代文明①	四大文明（メソポタミア文明・エジプト文明）の特色をつかみ、内容を理解する。	
3	自然環境①	安定陸塊と侵食平野について学び、内容を理解する。	
4	縄文、弥生、古墳時代、律令国家②	中国・朝鮮の交流、大和政権と古墳文化について学び、内容を理解する。	
5	古代文明②	四大文明（中国文明・インダス文明）の特色をつかみ、内容を理解する。	
6	自然環境②	堆積平野について学び、内容を理解する。	
7	縄文、弥生、古墳時代、律令国家③	飛鳥・奈良・平安時代前期の政治の流れについて学び、内容を理解する。	
8	古代文明③	古代ギリシアについて学び、内容を理解する。	
9	自然環境③	海岸の地形について学び、内容を理解する。	
10	縄文、弥生、古墳時代、律令国家④	飛鳥・白鳳・天平文化、弘仁・貞観・国風文化、飛鳥・奈良・平安時代の仏教の動きについて学び、内容を理解する。	
11	古代文明④	古代ローマについて学び、内容を理解する。	
12	自然環境④	世界の大地形について学び、内容を理解する。	
13	武家社会の変遷①	武士の興りと源平の合戦について学び、内容を理解する。	
14	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ローマ帝国の内乱の1世紀から元首政について学び、内容を理解する。	
15	自然環境⑤	プレート・山地及び、火山地形について学び、内容を理解する。	
16	武家社会の変遷②	鎌倉幕府の成立、承久の乱と執権政治、元寇について学び、内容を理解する。	
17	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ローマ帝国の五賢帝時代から専制君主政について学び、内容を理解する。	
18	自然環境⑥	その他の地形及び、世界の主な地形について学び、内容を理解する。	
19	武家社会の変遷③	鎌倉新仏教、鎌倉文化について学び、内容を理解する。	
20	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	キリスト教の誕生と発展及び、東西教会の対立と分裂について学び、内容を理解する。	
21	自然環境⑦	大気・海流・水について学び、内容を理解する。	
22	武家社会の変遷④	建武の新政と南北朝の対立、鎌倉幕府の仕組み、主な将軍（足利氏）と国内の政治について学び、内容を理解する。	
23	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ゲルマン人の大移動とフランク王国の成立について学び、内容を理解する。	
24	気候・土壌①	気温と風及び、雨温図とハイサーグラフについて学び、内容を理解する。	
25	武家社会の変遷⑤	応仁の乱、日明貿易（勘合貿易）、惣村の形成と一揆について学び、内容を理解する。	
26	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	フランク王国の発展と分裂について学び、内容を理解する。	
27	気候・土壌②	ケッペンの気候区分について学び、内容を理解する。	
28	武家社会の変遷⑥	室町幕府の特色、室町文化について学び、内容を理解する。	
29	ローマ帝国とキリスト教・ヨーロッパ世界の形成	ビザンツ王国の繁栄について学び、内容を理解する。	
30	気候・土壌③	土壌帯について学び、内容を理解する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	戦国大名と織豊政権①	戦国大名について学び、内容を理解する。
32 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け① 気候・土壌④	封建社会の成立と崩壊及び、商業の発達と都市の発展について学び、内容を理解する。 植物体について学び、内容を理解する。
33 回	戦国大名と織豊政権②	鉄砲とキリスト教伝来とその背景について学び、内容を理解する。
34 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け② 民族・人口 ・交通・地図①	ローマ＝カトリック教会の発展について学び、内容を理解する。
35 回	戦国大名と織豊政権③	人種と言語、宗教、アジアの民族・宗教・言語、人種差別問題及び人口問題 南蛮貿易について学び、内容を理解する。
36 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け③ 民族・人口 ・交通・地図②	十字軍の遠征について学び、内容を理解する。
37 回	戦国大名と織豊政権④	交通・通信、世界地図及び、標準時と時差について学び、内容を理解する。 織田信長の統一事業について学び、内容を理解する。
38 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け④ 世界の農林水産業①	英仏の発展と百年戦争について学び、内容を理解する。
39 回	戦国大名と織豊政権⑤	農業地域の区分について学び、内容を理解する。
40 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑤ 世界の農林水産業②	豊臣秀吉の統一事業について学び、内容を理解する。
41 回	戦国大名と織豊政権⑥	教皇権の衰退について学び、内容を理解する。
42 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑥ 世界の農林水産業③	世界の農業の動向及び、世界の林業について学び、内容を理解する。 桃山文化について学び、内容を理解する。
43 回	幕藩体制①	大航海時代について学び、内容を理解する。
44 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑦ 世界の鉱工業①	世界の水産業について学び、内容を理解する。
45 回	幕藩体制②	江戸幕府の成立、江戸幕府の仕組みと大名統制について学び、内容を理解する。 ルネサンスについて学び、内容を理解する。
46 回	中世ヨーロッパ世界と近世への幕開け⑧ 世界の鉱工業②	1次エネルギー、発電（2次エネルギー）、主な国の初電源構成、鉱山資源の分布について学び、内容を理解する。 朝廷の統制、身分制の社会について学び、内容を理解する。
47 回	幕藩体制③	宗教改革及び反宗教改革について学び、内容を理解する。
48 回	絶対王政と市民革命① 世界の鉱工業③	主な鉱山資源の産出国、主なエネルギー資源の主要生産・埋蔵国、鉱山資源の主要生産国及び、工場の立地について学び、内容を理解する。 鎖国への歩みについて学び、内容を理解する。
49 回	幕藩体制④	ハプスブルク家とスペインの黄金時代及び、オランダの独立と繁栄について学び、内容を理解する。
50 回	絶対王政と市民革命② アジア・アフリカ①	世界の主な国の鉱工業の特徴について学び、内容を理解する。
51 回	鎖国後の江戸時代の政治の流れ①	鎖国後の江戸時代の政治の流れ①について学び、内容を理解する。
52 回	三十年戦争及び、フランスの宗教内乱と絶対王政	三十年戦争及び、フランスの宗教内乱と絶対王政について学び、内容を理解する。
53 回	アジアの地形・気候	アジアの地形・気候について学び、内容を理解する。

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		140 時間	教員 ビジネス科 (Ⅱ種2年コース)
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	幕藩体制⑤	鎖国後の江戸時代の政治の流れ②について学び、内容を理解する。	
62 回	絶対王政と市民革命③	ロマノフ朝の成立とロシアの発展及び、プロイセンとオーストリアについて学び、内容を理解する。	
63 回	アジア・アフリカ②	アジアの主要国の概要について学び、内容を理解する。	
64 回	幕藩体制⑥	鎖国後の江戸時代の政治の流れ③について学び、内容を理解する。	
65 回	絶対王政と市民革命④	イギリス革命と名誉革命について学び、内容を理解する。	
66 回	アジア・アフリカ③	中国の民族・自治区及び、東南・南アジア諸国の独立について学び、内容を理解する。	
67 回	幕藩体制⑦	文化の特色と主な作品について学び、内容を理解する。	
68 回	絶対王政と市民革命⑤	産業革命について学び、内容を理解する。	
69 回	アジア・アフリカ④	アジアの産業・経済に浮いて学び、内容を理解する。	
70 回	幕藩体制⑧	儒学の興隆と発展、新しい学問について学び、内容を理解する。	
71 回	絶対王政と市民革命⑥	アメリカ独立革命について学び、内容を理解する。	
72 回	アジア・アフリカ⑤	東南アジア主要諸国の輸出品目の変化について学び、内容を理解する。	
73 回	幕藩体制⑨	列強の接近と幕府の対応について学び、内容を理解する。	
74 回	絶対王政と市民革命⑦	フランス革命について学び、内容を理解する。	
75 回	アジア・アフリカ⑥	アフリカ主要国の輸出品目について学び、内容を理解する。	
76 回	幕藩体制⑩	日米和親条約と日米修好通商条約、幕末の貿易について学び、内容を理解する。	
77 回	絶対王政と市民革命⑧	ナポレオン時代とナポレオン時代の終焉について学び、内容を理解する。	
78 回	アジア・アフリカ⑦	アフリカの主要国の特色について学び、内容を理解する。	
79 回	幕藩体制⑪	幕末の動きについて学び、内容を理解する。	
80 回	列強の帝国主義政策①	ウィーン体制の成立と崩壊について学び、内容を理解する。	
81 回	ヨーロッパ①	ヨーロッパの概要、地形、各国の1人当たりのGDPについて学び、内容を理解する。	
82 回	幕藩体制⑫	各国の対応、民衆の動きについて学び、内容を理解する。	
83 回	列強の帝国主義政策②	フランスの七月革命から第三共和政まで学び、内容を理解する。	
84 回	ヨーロッパ②	ヨーロッパ諸国の概要について学び、内容を理解する。	
85 回	明治時代①	中央集権の確立について学び、内容を理解する。	
86 回	列強の帝国主義政策③	ロシアの南下政策とクリミア戦争及び、イタリアの統一について学び、内容を理解する。	
87 回	ヨーロッパ③	ヨーロッパの農業及び、東ヨーロッパの概要について学び、内容を理解する。	
88 回	明治時代②	富国強兵と殖産興業について学び、内容を理解する。	
89 回	列強の帝国主義政策④	ドイツの統一及び、ドイツ帝国の成立とビスマルク外交について学び、内容を理解する。	
90 回	ヨーロッパ④	ロシアの概要、ロシアと周辺の国々及び、世界に占めるロシアの鉱山資源 (生産量) について学び、内容を理解する。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	明治時代③	明治初期の外交について学び、内容を理解する。
92 回	列強の帝国主義政策⑤	イギリス自由主義の進展と大英帝国の繁栄についての学び、内容を理解する。
93 回	南北アメリカ ・オセアニア①	北アメリカ大陸とアメリカ合衆国の農牧業地域についての学び、内容を理解する。
94 回	明治時代④	自由民権運動と立憲政治の成立についての学び、内容を理解する。
95 回	列強の帝国主義政策⑥	アメリカ合衆国の発展と南北戦争についての学び、内容を理解する。
96 回	南北アメリカ ・オセアニア②	アメリカ合衆国の先端技術産業と南アメリカ大陸についての学び、内容を理解する。
97 回	明治時代⑤	帝国議会、自由党と立憲改進黨についての学び、内容を理解する。
98 回	列強の帝国主義政策⑦	アフリカの植民地化及び、東南アジアの植民地化についての学び、内容を理解する。
99 回	南北アメリカ ・オセアニア③	南アメリカの主要国の特色と中南アメリカの気候、中南アメリカの鉱山資源についての学び、内容を理解する。
100 回	明治時代⑥	条約改正の道のりについての学び、内容を理解する。
101 回	列強の帝国主義政策⑧	イギリスのインド支配についての学び、内容を理解する。
102 回	南北アメリカ ・オセアニア④	オセアニアの概要、オセアニアの地域区分、オーストラリアの土地利用についての学び、内容を理解する。
103 回	明治時代⑦	日清戦争についての学び、内容を理解する。
104 回	第一次世界大戦前後①	交際対立の激化及び、第一次世界大戦の勃発についての学び、内容を理解する。
105 回	日本の自然・貿易①	日本の領域・面積・人口、日本の気候、自然災害についての学び、内容を理解する。
106 回	明治時代⑧	日露戦争についての学び、内容を理解する。
107 回	第一次世界大戦前後②	第一次世界大戦の戦局と終結及び、ヴェルサイユ体制についての学び、内容を理解する。
108 回	日本の自然・貿易②	日本の国土、日本の地帯構造、日本の主な河川と平野・盆地についての学び、
109 回	明治時代⑨	文明開化、教育の普及についての学び、内容を理解する。
110 回	第一次世界大戦前後③	国際連盟の設立及び、軍縮による国際協調の進展についての学び、内容を理解する。
111 回	日本の自然・貿易③	日本の貿易の特色、日本の輸出入品の変化、貿易相手国の変化、日本の主要貿易相手国の輸出入品目と輸出入額についての学び、内容を理解する。
112 回	明治時代⑩	明治時代の思想・学問、明治時代の文学・芸術についての学び、内容を理解する。
113 回	第一次世界大戦前後④	トルコ革命・ロシア革命及び、ソヴィエト政権とソヴィエト連邦の成立についての学び、内容を理解する。
114 回	日本の産業①	日本の農業の特色・問題点、主な農畜産物の生産の都道府県順位についての学び、内容を理解する。
115 回	大正時代～昭和前期①	大正時代の内閣と動きについての学び、内容を理解する。
116 回	第二次世界大戦～現代①	世界恐慌、ファシズムの台頭及び、ナチスドイツの勢力拡大についての学び、内容を理解する。
117 回	日本の産業②	日本の林業の特色・問題点、日本の水産業の特色・問題点についての学び、
118 回	大正時代～昭和前期②	大正デモクラシーについての学び、内容を理解する。
119 回	第二次世界大戦～現代②	第二次世界大戦、太平洋戦争についての学び、内容を理解する。
120 回	日本の産業③	日本の鉄鋼業の歴史・工場、主な工業地帯・地域、先端技術産業、工業の諸問題についての学び、内容を理解する。

科目名		科目時間総数	教員名
人文科学		140	時間 員ビジネス科（Ⅱ種2年コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121 回	大正時代～昭和前期③	大正文化について学び、内容を理解する。	
122 回	第二次世界大戦～現代③	第二次世界大戦の終結及び戦後世界秩序の成立について学び、内容を理解する。	
123 回	大正時代～昭和前期④	第一次世界大戦と日本について学び、内容を理解する。	
124 回	第二次世界大戦～現代④	冷戦の始まりと冷戦下の出来事について学び、内容を理解する。	
125 回	大正時代～昭和前期⑤	第一次世界大戦後の日本と東アジアの動きについて学び、内容を理解する。	
126 回	第二次世界大戦～現代⑤	米ソの緊張緩和と東西冷戦の終結について学び、内容を理解する。	
127 回	大正時代～昭和前期⑥	国際協調時代の条約、関東大震災について学び、内容を理解する。	
128 回	中国の歴史①	古代中国の変遷、漢について学び、内容を理解する。	
129 回	大正時代～昭和前期⑦	第二次世界大戦前の外交について学び、内容を理解する。	
130 回	中国の歴史②	魏晉南北朝、隋、唐の変遷について学び、内容を理解する。	
131 回	大正時代～昭和前期⑧	昭和前半の内閣の動きについて学び、内容を理解する。	
132 回	中国の歴史③	五代十国～宋、明の変遷について学び、内容を理解する。	
133 回	第二次世界大戦後の諸改革①	日本の民主化について学び、内容を理解する。	
134 回	中国の歴史④	清の変遷について学び、内容を理解する。	
135 回	第二次世界大戦後の諸改革②	農地改革について学び、内容を理解する。	
136 回	中国の歴史⑤	中国の動揺と変革・アヘン戦争と太平天国の乱について学び、内容を理解する。	
137 回	第二次世界大戦後の諸改革③	独立・国際社会復帰への歩みについて学び、内容を理解する。	
138 回	中国の歴史⑥	中国の動揺と変革・アロー戦争～辛亥革命について学び、内容を理解する。	
139 回	第二次世界大戦後の諸改革④	日本経済の歩みについて学び、内容を理解する。	
140 回	中国の歴史⑦	中国革命と日中戦争について学び、内容を理解する。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">自然科学</p>	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）	
	担当教員	井上 雄	
科目時間数： 145 時間	授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習		
必修・選択の別： 必修・選択・必修選択	開講時期： 1年次4月～2年次9月		
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験における一次試験突破に向けた基礎学力の向上を目的とし、合わせて一般教養を身につけることをねらいとする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 自然科学についての知識を学び、公務員試験における教養の問題が解けるようになる。</p> <p>【授業における達成課題】 各科目・単元における自然科学の知識を理解し、実際の問題演習で解けるようになる。</p>			
使用教材		出版社	
自作プリント			
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
自然科学		145 時間	専任教員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	化学 周期表	元素の周期表を覚えることができる	
2 回	生物 細胞と組織	細胞の構造と働きについて理解できる。	
3 回	物理 物体の運動	等加速度直線運動の考え方・公式を用いて、問題が解けるようになる。	
4 回	地学 地球の動き	星の運動について理解できる。	
5 回	化学 原子	原子の構造が理解できる	
6 回	生物 細胞と組織	細胞の構造と働きについて理解できる。	
7 回	物理 物体の運動	落下運動の考え方・公式を用いて、問題が解けるようになる。	
8 回	地学 地球の動き	太陽の動き・季節の変化について理解できる。	
9 回	化学 電子配置	電子配置を理解できる	
10 回	生物 光合成	光合成の過程・植物の生活について理解できる	
11 回	物理 物体の運動 演習	第3回・第7回で学んだことを活かし、物体の運動の問題が解けるようになる。	
12 回	地学 太陽系	太陽系と惑星の運動について理解できる。	
13 回	化学 イオン	イオンになるしくみを理解できる。	
14 回	生物 光合成	光合成の過程・植物の生活について理解できる	
15 回	物理 力のつり合い・浮力	力のつり合いの考え方・浮力の公式を用いて、問題が解けるようになる。	
16 回	地学 太陽系	太陽系を構成する天体について理解できる。	
17 回	化学 共有結合	共有結合の仕組みについて理解できる。	
18 回	生物 酵素・呼吸	酵素の性質・呼吸の仕組みについて理解できる。	
19 回	物理 力のつり合い 弾性力	ばねを用いた力のつり合い・ばねに働く弾性力の大きさを求めることができる。	
20 回	地学 恒星	恒星について、地球から恒星までの距離・明るさについて理解できる。	
21 回	化学 化学結合と結晶	イオン結合・金属結合・結晶について理解できる。	
22 回	生物 酵素・呼吸	酵素の性質・呼吸の仕組みについて理解できる。	
23 回	物理 力のつり合い 力の合	物体に力が複数働き、つりあうときの力の関係を理解し、問題を解くことができる。	
24 回	地学 恒星	恒星について、色と表面温度、HR図と恒星の大きさが理解できる。	
25 回	化学 化学結合と結晶	水素結合・結合と結晶について理解できる。	
26 回	生物 刺激と反応	受容器（感覚器）や神経系について理解できる。	
27 回	物理 力のモーメント	物体に働く力が、どれくらい物体を回転させるかを求めることができる。	
28 回	地学 地震	地震について理解できる。	
29 回	化学 原子量	分子量・原子量の計算ができる。	
30 回	生物 刺激と反応	受容器（感覚器）や神経系について理解できる。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31	物理 回 運動方程式	運動方程式の考え方を理解し、問題を解くことができる。
32	地学 回 地震	地震について理解できる。
33	化学 回 モル計算	モルを用いた計算ができるようになる。
34	生物 回 人の恒常性	食物の消化と吸収・肝臓のつくりと働きについて理解できる。
35	物理 回 運動量	運動量の考え方を理解し、問題を解くことができる。
36	地学 回 岩石の分類	各岩石の特徴を理解できる。
37	化学 回 純物質・混合物・同素	純物質・混合物・同素体を理解できる。
38	生物 回 人の恒常性	体液の恒常性・生体防御の働きについて理解できる。
39	物理 回 仕事	仕事・仕事率の考え方を理解し、問題を解くことができる。
40	地学 回 岩石の分類	火山の形と噴火の様子について理解できる。
41	化学 回 気体の性質	気体の特徴・製法等について理解できる。
42	生物 回 人の恒常性	自律神経系と内分泌系の働きについて理解できる。
43	物理 回 力学的エネルギー	運動エネルギー・位置エネルギーの考え方を理解し、問題を解くこと
44	地学 回 地史	地層について理解できる。
45	化学 回 有機化合物	有機化合物の性質について理解できる。
46	生物 回 植物の反応と調節	刺激と植物の反応・植物ホルモンの働きについて理解できる。
47	物理 回 熱エネルギー	熱エネルギーの考え方を理解し、問題を解くことができる。
48	地学 回 地史	各年代の特徴が理解できる。
49	化学 回 有機化合物	計算問題が解けるようになる。
50	生物 回 生殖・性の決定	生殖の方法について理解できる。
51	物理 回 オームの法則	電流・電圧・抵抗の関係を理解し、問題を解くことができる。
52	地学 回 大気と海洋	大気圏の構造について理解できる。
53	化学 回 酸化還元	酸化還元の仕組みを理解できる。
54	生物 回 生殖・性の決定	生殖の方法・減数分裂について理解できる。
55	物理 回 直流・交流	電気の流れが2種類あることを学び、磁界の向き・電流が磁界から受ける力の向きを求めることができる。
56	地学 回 大気と海洋	大気の姿・水の循環について理解できる。
57	化学 回 電気分解	電気分解の仕組みが理解できる。
58	生物 回 遺伝	メンデルの法則・いろいろな遺伝について理解できる。
59	物理 回 波動	波動の基本的な性質を理解することができる。
60	地学 回 日本の天気	天気図・前線について理解できる。

科目名		科目時間総数	教員名
自然科学		145 時間	専員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	化学 電池	電池のしくみについて理解できる。	
62 回	生物 遺伝	遺伝の連鎖と組み換え・遺伝子の本体について理解できる。	
63 回	物理 波動 音	音の性質・音による現象を理解することができる。	
64 回	地学 日本の天気	高気圧と低気圧について理解できる。	
65 回	化学 酸・塩基	酸・塩基について理解できる。	
66 回	生物 生物の集団	個体群の相互作用について理解できる。	
67 回	物理 波動 光	光の性質・光による現象を理解することができる。	
68 回	地学 日本の天気	日本列島の天気・地球規模の大気の循環について理解できる。	
69 回	化学 中和	中和反応と塩の関係を理解できる。	
70 回	生物 生物の集団	植物群系の種類と分布について理解できる。	
71 回	物理 波動 レンズ	レンズの公式を用いて、問題を解くことができる。	
72 回	地学 演習 地球の動き	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。	
73 回	化学 中和	中和に関する液性について理解できる。	
74 回	生物 生物の分類・進化	種子植物の分類について理解できる。	
75 回	物理 物体の運動	斜方投射の考え方を理解し、問題を解くことができる。	
76 回	地学 演習 太陽系	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。	
77 回	化学 中和	中和計算ができるようになる。	
78 回	生物 生物の分類・進化	動物の分類・生物の進化について理解できる。	
79 回	物理 弾性エネルギー	ばねに働く弾性エネルギーの大きさを求めることができる。	
80 回	地学 演習 恒星	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。	
81 回	化学 p h	p h について理解をし、計算できるようになる。	
82 回	生物 食物連鎖・物質の循環	生態系の構造と働きについて理解できる。	
83 回	物理 演習 物体の運動	授業時に解いた問題を改めて出題し、理解が定着しているか確認する。	
84 回	地学 演習 地震	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。	
85 回	化学 物質の状態	状態変化について理解できる。	
86 回	生物 食物連鎖・物質の循環	物質の循環とエネルギーの流れについて理解できる。	
87 回	物理 演習 力のつり合い	授業時に解いた問題を改めて出題し、理解が定着しているか確認する。	
88 回	地学 演習 岩石の分類	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。	
89 回	化学 気体	気体の計算ができるようになる。	
90 回	生物 演習 細胞と組織	授業で学んだ知識を活かし、問題を解けるか演習で確認し、知識の定着を図る	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91回	物理 演習 エネルギー	授業時に解いた問題を改めて出題し、理解が定着しているか確認する。
92回	地学 演習 地史	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
93回	化学 演習 気体	分圧・気体の溶解度が理解できる。
94回	生物 演習 光合成	授業で学んだ知識を活かし、問題を解けるか演習で確認し、知識の定着を図る
95回	物理 演習 オームの法則	授業時に解いた問題を改めて出題し、理解が定着しているか確認する。
96回	地学 演習 大気と海洋	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
97回	化学 演習 水溶液	水溶液の溶解について理解できる。
98回	生物 演習 酵素・呼吸	授業で学んだ知識を活かし、問題を解けるか演習で確認し、知識の定着を図る
99回	物理 演習 波動	授業時に解いた問題を改めて出題し、理解が定着しているか確認する。
100回	地学 演習 日本の天気	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
101回	化学 演習 コロイド	コロイドについて理解できる。
102回	生物 演習 刺激と反応	授業で学んだ知識を活かし、問題を解けるか演習で確認し、知識の定着を図る
103回	物理 演習 物体の運動	学んだことを活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
104回	地学 演習 地球の動き	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
105回	化学 演習 反応熱	化学反応における反応熱について理解できる。
106回	生物 演習 人の恒常性	授業で学んだ知識を活かし、問題を解けるか演習で確認し、知識の定着を図る
107回	物理 演習 力のつりあい	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
108回	地学 演習 太陽系	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
109回	化学 演習 熱化学方程式	熱化学方程式を立て、計算できる。
110回	生物 演習 植物の反応と調	授業で学んだ知識を活かし、問題を解けるか演習で確認し、知識の定着を図る
111回	物理 演習 エネルギー	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
112回	地学 演習 恒星	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
113回	化学 演習 可逆反応と平衡	可逆反応と平衡のしくみについて理解できる。
114回	生物 演習 生殖・性の決定	授業で学んだ知識を活かし、問題を解けるか演習で確認し、知識の定着を図る
115回	物理 演習 オームの法則	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
116回	地学 演習 地震	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
117回	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
118回	生物 演習 遺伝	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
119回	物理 演習 波動	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。
120回	地学 演習 岩石の分類	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。

科目名		科目時間総数	時間	教員名
自然科学		145		専員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
121	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
122	生物 演習 生物の集団	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
123	物理 演習 物体の運動	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
124	地学 演習 地史	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
125	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
126	生物 演習 生物の分類・進	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
127	物理 演習 力のつり合い	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
128	地学 演習 大気と海洋	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
129	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
130	生物 演習 食物連鎖・物質	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
131	物理 演習 エネルギー	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
132	地学 演習 日本の天気	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
133	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
134	生物 総合演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
135	物理 演習 オームの法則	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
136	地学 総合演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
137	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
138	生物 総合演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
139	物理 演習 波動	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
140	地学 総合演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
141	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
142	生物 総合演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
143	物理 演習 物体の運動	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
144	地学 総合演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		
145	化学 演習	学んだ知識を活かし、過去に出題された問題を解くことができる。		

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 一般知能	学科名 公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
	担当教員 照井 基規・井上 雄
科目時間数： 360 時間	授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別： 必修・選択・必修選択	開講時期： 1年次4月～2年次9月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員試験に問われる一般知能分野への対策を目的とする。また、その学習過程において、論理的思考力の養成や幅広い一般教養にも触れる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 講義において、その問いが求める思考力や知識について学び、演習によって理解および定着を図る。</p> <p>【授業における達成課題】 公務員試験における同分野の問題に対して、解決・解答することができる。</p>	
使用教材	出版社
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>	
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>	
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>	
<p>【担当職員の実務経験】</p>	

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		360	時間
教育に含むべき事項・テーマ		主要な学習内容と到達目標	
1	判断推理	集合の表し方（ベン図）と、その問題の解き方について学ぶ。	
2	判断推理	集合の表し方（キャロル表）と、その問題の解き方について学ぶ。	
3	数的推理	素数と素因数分解と、その問題の解き方について学ぶ。	
4	数的推理	倍数と約数と、その問題の解き方について学ぶ。	
5	資料解釈	階数と度数と、その問題の解き方について学ぶ。	
6	空間把握	正多面体の性質（定義，種類，オイラーの多面体定理）について学ぶ。	
7	国語	古代ギリシアの思想（自然哲学）について学ぶ。	
8	国語	古代ギリシアの思想（自然哲学）について学ぶ。	
9	判断推理	集合の表し方（線分図）と、その問題の解き方について学ぶ。	
10	判断推理	集合の包含関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
11	数的推理	剰余系と、その問題の解き方について学ぶ。	
12	数的推理	N進法と、その問題の解き方について学ぶ。	
13	資料解釈	累積度数と累積度数分布グラフと、その問題の解き方について学ぶ。	
14	空間把握	正多面体の性質（正多面体の双対性）と、その問題の解き方について学ぶ。	
15	国語	古代ギリシアの思想（ソフィスト）について学ぶ。	
16	国語	古代ギリシアの思想（ソクラテス）について学ぶ。	
17	判断推理	命題と対偶と、その問題の解き方について学ぶ。	
18	判断推理	命題と対偶と、その問題の解き方について学ぶ。	
19	数的推理	数列（等差数列，等比数列，数列の和など）と、その問題の解き方について学ぶ。	
20	数的推理	規則性と、その問題の解き方について学ぶ。	
21	資料解釈	相対度数と、その問題の解き方について学ぶ。	
22	空間把握	正多面体の性質（正多面体の展開）と、その問題の解き方について学ぶ。	
23	国語	古代ギリシアの思想（プラトン）について学ぶ。	
24	国語	古代ギリシアの思想（アリストテレス）について学ぶ。	
25	判断推理	ド・モルガンの法則について学ぶ。	
26	判断推理	三段論法と、その問題の解き方について学ぶ。	
27	数的推理	虫食算と覆面算と、その問題の解き方について学ぶ。	
28	数的推理	魔方陣と法人算と、その問題の解き方について学ぶ。	
29	資料解釈	代表値（平均値，メジアン（中央値），モード（最頻値））と、その問題の解き方について学ぶ。	
30	空間把握	復習：正多面体の性質	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	国語	ヘレニズムの思想について学ぶ。
32 回	国語	ルネサンス（ピコ＝デラ＝ミランドラ）について学ぶ。
33 回	判断推理	命題の並列化と、その問題の解き方について学ぶ。
34 回	判断推理	命題の並列化と、その問題の解き方について学ぶ。
35 回	数的推理	整数の復習
36 回	数的推理	整数の演習
37 回	資料解釈	代表値と分布と、その問題の解き方について学ぶ。
38 回	空間把握	演習：正多面体の性質
39 回	国語	ルネサンス（エラスムス）について学ぶ。
40 回	国語	ルネサンス（トマス＝モア）について学ぶ。
41 回	判断推理	復習：集合と倫理
42 回	判断推理	演習：集合と論理
43 回	数的推理	連立方程式と、その問題の解き方について学ぶ。
44 回	数的推理	2次方程式と、その問題の解き方について学ぶ。
45 回	資料解釈	復習と演習
46 回	空間把握	立体の見取図と展開図（見取図）と、その問題の解き方について学ぶ。
47 回	国語	ルネサンス（マキャベリ）について学ぶ。
48 回	国語	宗教改革（ルター）について学ぶ。
49 回	判断推理	数量的順序関係と、その問題の解き方について学ぶ。
50 回	判断推理	順位的順序関係と、その問題の解き方について学ぶ。
51 回	数的推理	解と係数の関係と、その問題の解き方について学ぶ。
52 回	数的推理	不等式と、その問題の解き方について学ぶ。
53 回	資料解釈	資料の読み取り（計算に対する考え方）と、その問題の解き方について学ぶ。
54 回	空間把握	立体の見取図と展開図（展開図）と、その問題の解き方について学ぶ。
55 回	国語	宗教改革（カルヴァン）について学ぶ。
56 回	国語	宗教改革（マックス＝ウェーバー）について学ぶ。
57 回	判断推理	順位の変動と、その問題の解き方について学ぶ。
58 回	判断推理	順位の変動と、その問題の解き方について学ぶ。
59 回	数的推理	不定方程式（整数条件による場合分け）と、その問題の解き方について学ぶ。
60 回	数的推理	不定方程式（正負の符号による場合分け）と、その問題の解き方について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		360	職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61回	資料解釈	資料の読み取り（掛け算についての速算法）と、その問題の解き方について学ぶ。	
62回	空間把握	立体の見取図と展開図（平行になる辺や面）について学ぶ。	
63回	国語	モラリスト（モンテーニュ）について学ぶ。	
64回	国語	モラリスト（パスカル）について学ぶ。	
65回	判断推理	確定条件と、その問題の解き方について学ぶ。	
66回	判断推理	確定条件と、その問題の解き方について学ぶ。	
67回	数的推理	復習：方程式と不等式	
68回	数的推理	演習：方程式と不等式	
69回	資料解釈	資料の読み取り（割り算についての速算法）と、その問題の解き方について学ぶ。	
70回	空間把握	復習：立体の見取図と展開図	
71回	国語	ベーコン（経験論と帰納法）について学ぶ。	
72回	国語	デカルト（合理論と演繹法）について学ぶ。	
73回	判断推理	復習：順序関係	
74回	判断推理	演習：順序関係	
75回	数的推理	速さ・距離・時間の関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
76回	数的推理	単位の変換と、その問題の解き方について学ぶ。	
77回	資料解釈	近似法と、その問題の解き方について学ぶ。	
78回	空間把握	復習：立体の見取図と展開図	
79回	国語	社会契約説（ホッブズ）について学ぶ。	
80回	国語	社会契約説（ロック）について学ぶ。	
81回	判断推理	方位と相互の位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
82回	判断推理	平面的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
83回	数的推理	旅人算と、その問題の解き方について学ぶ。	
84回	数的推理	流水算と、その問題の解き方について学ぶ。	
85回	資料解釈	図表の背景についてと、その問題の解き方について学ぶ。	
86回	空間把握	正多面体の切断（正六面体の切断）について学ぶ。	
87回	国語	社会契約説（ルソー）について学ぶ。	
88回	国語	社会契約説の比較について学ぶ。	
89回	判断推理	平面的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
90回	判断推理	円卓の位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	数的推理	通貨算と、その問題の解き方について学ぶ。
92 回	数的推理	ダイアグラムと、その問題の解き方について学ぶ。
93 回	資料解釈	分数の大小関係と、その問題の解き方について学ぶ。
94 回	空間把握	正多面体の切断（正四面体の切断）について学ぶ。
95 回	国語	ドイツ観念論（カント）について学ぶ。
96 回	国語	ドイツ観念論（ヘーゲル）について学ぶ。
97 回	判断推理	空間的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。
98 回	判断推理	空間的位置関係と、その問題の解き方について学ぶ。
99 回	数的推理	ダイアグラムと図形の性質と、その問題の解き方について学ぶ。
100 回	数的推理	時計算と、その問題の解き方について学ぶ。
101 回	資料解釈	復習と演習
102 回	空間把握	正多面体の切断（正八面体の切断）について学ぶ。
103 回	国語	功利主義（ベンサム）について学ぶ。
104 回	国語	功利主義（J. S. ミル）について学ぶ。
105 回	判断推理	復習：位置関係
106 回	判断推理	演習：位置関係
107 回	数的推理	復習：速さ
108 回	数的推理	演習：速さ
109 回	資料解釈	分散と標準偏差（平均偏差，分散，標準偏差）と、その問題の解き方について学ぶ。
110 回	空間把握	正多面体の切断（正十二面体の切断）について学ぶ。
111 回	国語	有神論的実在主義（キルケゴール）について学ぶ。
112 回	国語	有神論的実在主義（ヤスパース）について学ぶ。
113 回	判断推理	2集合の対応関係（1対1対応）と、その問題の解き方について学ぶ。
114 回	判断推理	2集合の対応関係（複数対応）と、その問題の解き方について学ぶ。
115 回	数的推理	割合の増減と、その問題の解き方について学ぶ。
116 回	数的推理	原価・定価・売価の関係と、その問題の解き方について学ぶ。
117 回	資料解釈	標準化と偏差値と、その問題の解き方について学ぶ。
118 回	空間把握	正多面体の切断（正二十面体の切断）について学ぶ。
119 回	国語	無神論的実在主義（ニーチェ）について学ぶ。
120 回	国語	無神論的実在主義（ハイデッガー）について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		360	時間 職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
121	判断推理	3集合の対応関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
122	判断推理	3集合の対応関係と、その問題の解き方について学ぶ。	
123	数的推理	損益算（割増・割引）と、その問題の解き方について学ぶ。	
124	数的推理	損益算（損壊の予想）と、その問題の解き方について学ぶ。	
125	資料解釈	相関図と、その問題の解き方について学ぶ。	
126	空間把握	復習：正多面体の切断	
127	国語	無神論的実在主義（サルトル）について学ぶ。	
128	国語	プラグマティズム（パース）について学ぶ。	
129	判断推理	復習：対応関係	
130	判断推理	その他の対応関係（時間割表など）と、その問題の解き方について学ぶ。	
131	数的推理	濃度算（濃度と方程式）と、その問題の解き方について学ぶ。	
132	数的推理	濃度算（図解などによる解き方）と、その問題の解き方について学ぶ。	
133	資料解釈	相関係数と、その問題の解き方について学ぶ。	
134	空間把握	演習：正多面体の切断	
135	国語	プラグマティズム（ジェームズ）について学ぶ。	
136	国語	プラグマティズム（デューイ）について学ぶ。	
137	判断推理	復習：対応関係	
138	判断推理	演習：対応関係	
139	数的推理	比の計算と、その問題の解き方について学ぶ。	
140	数的推理	比の計算と、その問題の解き方について学ぶ。	
141	資料解釈	相関係数の性質と、その問題の解き方について学ぶ。	
142	空間把握	投影図（投影図の定義）と、その問題の解き方について学ぶ。	
143	国語	ヒューマニズム（ガンディー）について学ぶ。	
144	国語	ヒューマニズム（その他の思想）について学ぶ。	
145	判断推理	トーナメント戦と、その問題の解き方について学ぶ。	
146	判断推理	トーナメント戦と、その問題の解き方について学ぶ。	
147	数的推理	復習：割合の問題	
148	数的推理	演習：割合の問題	
149	資料解釈	復習と演習	
150	空間把握	投影図（投影図の性質）と、その問題の解き方について学ぶ。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
152回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
153回	判断推理	リーグ戦と、その問題の解き方について学ぶ。
154回	判断推理	リーグ戦と、その問題の解き方について学ぶ。
155回	数的推理	仕事算と、その問題の解き方について学ぶ。
156回	数的推理	仕事算と、その問題の解き方について学ぶ。
157回	資料解釈	階層的分類と、その問題の解き方について学ぶ。
158回	空間把握	投影図（投影図の性質を利用したサイコロ問題）
159回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
160回	国語	テーマ別読解練習：言語と記号
161回	判断推理	勝敗数と勝率と、その問題の解き方について学ぶ。
162回	判断推理	復習：試合の問題
163回	数的推理	ニュートン算と、その問題の解き方について学ぶ。
164回	数的推理	ニュートン算と、その問題の解き方について学ぶ。
165回	資料解釈	期間別の推移と、その問題の解き方について学ぶ。
166回	空間把握	立体の分割と構成（立体パズル）と、その問題の解き方について学ぶ。
167回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
168回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
169回	判断推理	復習：試合の問題
170回	判断推理	演習：試合の問題
171回	数的推理	植木算と、その問題の解き方について学ぶ。
172回	数的推理	植木算と、その問題の解き方について学ぶ。
173回	資料解釈	三角図表と、その問題の解き方について学ぶ。
174回	空間把握	立体の分割と構成（スライス法）と、その問題の解き方について学ぶ。
175回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
176回	国語	テーマ別読解練習：自己と心理
177回	判断推理	推理（嘘つき問題）と、その問題の解き方について学ぶ。
178回	判断推理	推理（嘘つき問題）と、その問題の解き方について学ぶ。
179回	数的推理	年齢算と、その問題の解き方について学ぶ。
180回	数的推理	年齢算と、その問題の解き方について学ぶ。

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		360	時間 職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
181回	資料解釈	レーダーチャートと、その問題の解き方について学ぶ。	
182回	空間把握	軌跡と移動（多角形の移動が描く軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
183回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
184回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
185回	判断推理	発言からの推理（帽子の色当て）と、その問題の解き方について学ぶ。	
186回	判断推理	発言からの推理（帽子の色当て）と、その問題の解き方について学ぶ。	
187回	数的推理	平均算と、その問題の解き方について学ぶ。	
188回	数的推理	平均算と、その問題の解き方について学ぶ。	
189回	資料解釈	フローチャートと、その問題の解き方について学ぶ。	
190回	空間把握	軌跡と移動（円の移動が描く軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
191回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
192回	国語	テーマ別読解練習：身体と生命	
193回	判断推理	復習：発言からの推理	
194回	判断推理	演習：発言からの推理	
195回	数的推理	最低得票数の問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
196回	数的推理	最低得票数の問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
197回	資料解釈	復習と演習	
198回	空間把握	軌跡と移動（円盤の回転と軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
199回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
200回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
201回	判断推理	暗号問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
202回	判断推理	暗号問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
203回	数的推理	復習：文章題	
204回	数的推理	演習：文章題	
205回	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
206回	空間把握	軌跡と移動（円盤の回転と軌跡）と、その問題の解き方について学ぶ。	
207回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
208回	国語	テーマ別読解練習：文化と芸術	
209回	判断推理	復習：暗号問題	
210回	判断推理	演習：暗号問題	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
211 回	数的推理	辞書式配列と、その問題の解き方について学ぶ。
212 回	数的推理	樹形図と、その問題の解き方について学ぶ。
213 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
214 回	空間把握	回転体（直角三角形の回転体）と、その問題の解き方について学ぶ。
215 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
216 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
217 回	判断推理	川を渡る問題と、その問題の解き方について学ぶ。
218 回	判断推理	ハノイの塔の問題と、その問題の解き方について学ぶ。
219 回	数的推理	順列と、その問題の解き方について学ぶ。
220 回	数的推理	組合せと、その問題の解き方について学ぶ。
221 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
222 回	空間把握	回転体（半円の回転体）と、その問題の解き方について学ぶ。
223 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
224 回	国語	テーマ別読解練習：哲学と倫理
225 回	判断推理	天秤を使った操作の問題と、その問題の解き方について学ぶ。
226 回	判断推理	復習：操作の手順の問題と、その問題の解き方について学ぶ。
227 回	数的推理	和の法則と積の法則と、その問題の解き方について学ぶ。
228 回	数的推理	和の法則と積の法則と、その問題の解き方について学ぶ。
229 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
230 回	空間把握	回転体（複雑な図形の回転体）と、その問題の解き方について学ぶ。
231 回	国語	テーマ別読解練習：情報とメディア
232 回	国語	テーマ別読解練習：情報とメディア
233 回	判断推理	復習：操作の手順の問題
234 回	判断推理	演習：操作の手順の問題
235 回	数的推理	重複順列と、その問題の解き方について学ぶ。
236 回	数的推理	円順列と、その問題の解き方について学ぶ。
237 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
238 回	空間把握	回転体（回転軸から離れている図形の回転体）と、その問題の解き方について学ぶ。
239 回	国語	テーマ別読解練習：情報とメディア
240 回	国語	テーマ別読解練習：情報とメディア

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		360	職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
241	判断推理	ずれている時計の問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
242	数的推理	同じものを複数個含む順列と、その問題の解き方について学ぶ。	
243	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
244	国語	テーマ別読解練習：国家と民族	
245	判断推理	復習：ずれている時計の問題	
246	数的推理	重複組合せと、その問題の解き方について学ぶ。	
247	空間把握	回転体（円柱の切断面）と、その問題の解き方について学ぶ。	
248	英語	英文テーマ別読解練習：政治	
249	判断推理	暦の問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
250	数的推理	確率と、その問題の解き方について学ぶ。	
251	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
252	国語	テーマ別読解練習：国家と民族	
253	判断推理	復習：暦の問題	
254	数的推理	確率と、その問題の解き方について学ぶ。	
255	空間把握	回転体（円錐の切断面）と、その問題の解き方について学ぶ。	
256	英語	英文テーマ別読解練習：経済	
257	判断推理	家系図の問題と、その問題の解き方について学ぶ。	
258	数的推理	余事象と、その問題の解き方について学ぶ。	
259	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
260	国語	テーマ別読解練習：国家と民族	
261	判断推理	復習：家系図の問題	
262	数的推理	反復試行と、その問題の解き方について学ぶ。	
263	空間把握	回転体（球の切断面）と、その問題の解き方について学ぶ。	
264	英語	英文テーマ別読解練習：社会	
265	判断推理	演習：ずれている時計，暦，家系図	
266	数的推理	期待値と、その問題の解き方について学ぶ。	
267	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
268	国語	テーマ別読解練習：国家と民族	
269	判断推理	テーマ別演習：集合と論理	
270	数的推理	復習：場合の数と確率	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
271 回	空間把握	復習：回転体
272 回	英語	英文テーマ別読解練習：環境問題
273 回	判断推理	テーマ別演習：集合と論理
274 回	数的推理	演習：場合の数と確率
275 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
276 回	国語	テーマ別読解練習：政治
277 回	判断推理	テーマ別演習：順序関係
278 回	数的推理	平行線の性質と、その問題の解き方について学ぶ。
279 回	空間把握	演習：回転体
280 回	英語	英文テーマ別読解練習：科学
281 回	判断推理	テーマ別演習：順序関係
282 回	数的推理	多角形の性質と、その問題の解き方について学ぶ。
283 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
284 回	国語	テーマ別読解練習：政治
285 回	判断推理	テーマ別演習：位置関係
286 回	数的推理	三平方の定理と、その問題の解き方について学ぶ。
287 回	空間把握	平面図形の構成（平面の分割と構成）と、その問題の解き方について学ぶ。
288 回	英語	英文テーマ別読解練習：医療
289 回	判断推理	テーマ別演習：位置関係
290 回	数的推理	三角形の五心（重心，内心，外心，垂心，傍心）と、その問題の解き方について学ぶ。
291 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
292 回	国語	テーマ別読解練習：政治
293 回	判断推理	テーマ別演習：対応関係
294 回	数的推理	円の性質と、その問題の解き方について学ぶ。
295 回	空間把握	平面図形の構成（平面図形内に含まれる図形の数）と、その問題の解き方について学ぶ。
296 回	英語	英文テーマ別読解練習：教育
297 回	判断推理	テーマ別演習：対応関係
298 回	数的推理	面積と面積比と、その問題の解き方について学ぶ。
299 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
300 回	国語	テーマ別読解練習：政治

科目名		科目時間総数	教員名
一般知能		360	時間 教員ビジネス科（Ⅱ種2年コー）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
301	判断推理	テーマ別演習：試合の問題	
302	数的推理	合同と相似と、その問題の解き方について学ぶ。	
303	空間把握	平面図形の構成（平面図形内の道順）と、その問題の解き方について学ぶ。	
304	英語	英文テーマ別読解練習：人文科学系	
305	判断推理	テーマ別演習：試合の問題	
306	数的推理	直角三角形の性質、メネラウスの定理、中点連結定理と、その問題の解き方について学ぶ。	
307	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
308	国語	テーマ別読解練習：経済と資本主義	
309	判断推理	テーマ別演習：証言からの推理	
310	数的推理	空間図形と、その問題の解き方について学ぶ。	
311	空間把握	平面図形の構成（折り紙）と、その問題の解き方について学ぶ。	
312	英語	英文テーマ別読解練習：人文科学系	
313	判断推理	テーマ別演習：証言からの推理	
314	数的推理	復習：図形	
315	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
316	国語	テーマ別読解練習：経済と資本主義	
317	判断推理	テーマ別演習：暗号	
318	数的推理	演習：図形	
319	空間把握	平面図形の構成（一筆書き）と、その問題の解き方について学ぶ。	
320	英語	英文テーマ別読解練習：社会科学系	
321	判断推理	テーマ別演習：暗号	
322	数的推理	テーマ別演習：整数の性質	
323	資料解釈	様々な資料解釈の練習	
324	国語	テーマ別読解練習：経済と資本主義	
325	判断推理	テーマ別演習：操作の手順	
326	数的推理	テーマ別演習：方程式	
327	空間把握	様々な空間把握の練習	
328	英語	英文テーマ別読解練習：社会科学系	
329	判断推理	テーマ別演習：操作の手順	
330	数的推理	テーマ別演習：不等式	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
331 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
332 回	国語	テーマ別読解練習：経済と資本主義
333 回	判断推理	判断推理分野における総合演習
334 回	数的推理	テーマ別演習：速さ・道のり・時間
335 回	空間把握	様々な空間把握の練習
336 回	英語	英文テーマ別読解練習：自然科学系
337 回	判断推理	判断推理分野における総合演習
338 回	数的推理	テーマ別演習：速さに関する特殊な計算
339 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
340 回	国語	テーマ別読解練習：科学
341 回	判断推理	判断推理分野における総合演習
342 回	数的推理	テーマ別演習：割合
343 回	空間把握	様々な空間把握の練習
344 回	英語	英文テーマ別読解練習：自然科学系
345 回	判断推理	判断推理分野における総合演習
346 回	数的推理	テーマ別演習：能力
347 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
348 回	国語	テーマ別読解練習：科学
349 回	判断推理	判断推理分野における総合演習
350 回	数的推理	テーマ別演習：場合の数
351 回	空間把握	様々な空間把握の練習
352 回	英語	英文テーマ別読解練習：総合
353 回	判断推理	判断推理分野における総合演習
354 回	数的推理	テーマ別演習：確率
355 回	資料解釈	様々な資料解釈の練習
356 回	国語	テーマ別読解練習：科学
357 回	判断推理	判断推理分野における総合演習
358 回	数的推理	テーマ別演習：図形
359 回	空間把握	様々な空間把握の練習
360 回	英語	英文テーマ別読解練習：総合

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	模擬試験	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
		担当教員	井上 雄・柳谷 知宏
科目時間数	156 時間	授 業 の 種 類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次11月～2年次6月
<p>【授業の目的・ねらい】 公務員本試験形式の問題演習を重ねることで、本番での得点力向上につなげ、一次試験突破を目指す。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 MCOOL答練を実施する。</p> <p>【授業における達成課題】 公務員試験における1次試験を突破できる学力を身につける。</p>			
使用教材		出版社	
エムクールオリジナル答練		盛岡公務員法律専門学校	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 1. 筆記試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>			
<p>【備 考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		156	時間
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主要な学習内容と到達目標	
1 回	第1回MCOOL答練	教養試験対策	
2 回	〃	〃	
3 回	〃	〃	
4 回	第2回MCOOL答練	専門試験対策	
5 回	〃	〃	
6 回	〃	〃	
7 回	第3回MCOOL答練	教養試験対策	
8 回	〃	〃	
9 回	〃	〃	
10 回	第4回MCOOL答練	専門試験対策	
11 回	〃	〃	
12 回	〃	〃	
13 回	第5回MCOOL答練	教養試験対策	
14 回	〃	〃	
15 回	〃	〃	
16 回	第6回MCOOL答練	専門試験対策	
17 回	〃	〃	
18 回	〃	〃	
19 回	第7回MCOOL答練	教養試験対策	
20 回	〃	〃	
21 回	〃	〃	
22 回	第8回MCOOL答練	専門試験対策	
23 回	〃	〃	
24 回	〃	〃	
25 回	第9回MCOOL答練	教養試験対策	
26 回	〃	〃	
27 回	〃	〃	
28 回	第10回MCOOL答練	専門試験対策	
29 回	〃	〃	
30 回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	第11回MCOOL答練	教養試験対策
32 回	〃	〃
33 回	〃	〃
34 回	第12回MCOOL答練	専門試験対策
35 回	〃	〃
36 回	〃	〃
37 回	第13回MCOOL答練	教養試験対策
38 回	〃	〃
39 回	〃	〃
40 回	第14回MCOOL答練	専門試験対策
41 回	〃	〃
42 回	〃	〃
43 回	第15回MCOOL答練	教養試験対策
44 回	〃	〃
45 回	〃	〃
46 回	第16回MCOOL答練	専門試験対策
47 回	〃	〃
48 回	〃	〃
49 回	第17回MCOOL答練	教養試験対策
50 回	〃	〃
51 回	〃	〃
52 回	第18回MCOOL答練	専門試験対策
53 回	〃	〃
54 回	〃	〃
55 回	第19回MCOOL答練	教養試験対策
56 回	〃	〃
57 回	〃	〃
58 回	第20回MCOOL答練	専門試験対策
59 回	〃	〃
60 回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		156	時間
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主要な学習内容と到達目標	
61回	第21回MCOOL答練	教養試験対策	
62回	〃	〃	
63回	〃	〃	
64回	第22回MCOOL答練	専門試験対策	
65回	〃	〃	
66回	〃	〃	
67回	第23回MCOOL答練	教養試験対策	
68回	〃	〃	
69回	〃	〃	
70回	第24回MCOOL答練	専門試験対策	
71回	〃	〃	
72回	〃	〃	
73回	第25回MCOOL答練	教養試験対策	
74回	〃	〃	
75回	〃	〃	
76回	第26回MCOOL答練	専門試験対策	
77回	〃	〃	
78回	〃	〃	
79回	第27回MCOOL答練	教養試験対策	
80回	〃	〃	
81回	〃	〃	
82回	第28回MCOOL答練	専門試験対策	
83回	〃	〃	
84回	〃	〃	
85回	第29回MCOOL答練	教養試験対策	
86回	〃	〃	
87回	〃	〃	
88回	第30回MCOOL答練	専門試験対策	
89回	〃	〃	
90回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91 回	第31回MCOOL答練	教養試験対策
92 回	〃	〃
93 回	〃	〃
94 回	第32回MCOOL答練	専門試験対策
95 回	〃	〃
96 回	〃	〃
97 回	第33回MCOOL答練	教養試験対策
98 回	〃	〃
99 回	〃	〃
100 回	第34回MCOOL答練	専門試験対策
101 回	〃	〃
102 回	〃	〃
103 回	第35回MCOOL答練	教養試験対策
104 回	〃	〃
105 回	〃	〃
106 回	第36回MCOOL答練	専門試験対策
107 回	〃	〃
108 回	〃	〃
109 回	第37回MCOOL答練	教養試験対策
110 回	〃	〃
111 回	〃	〃
112 回	第38回MCOOL答練	専門試験対策
113 回	〃	〃
114 回	〃	〃
115 回	第39回MCOOL答練	教養試験対策
116 回	〃	〃
117 回	〃	〃
118 回	第40回MCOOL答練	専門試験対策
119 回	〃	〃
120 回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
模擬試験		156	時間
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主要な学習内容と到達目標	
121 回	第41回MCOOL答練	教養試験対策	
122 回	〃	〃	
123 回	〃	〃	
124 回	第42回MCOOL答練	専門試験対策	
125 回	〃	〃	
126 回	〃	〃	
127 回	第43回MCOOL答練	教養試験対策	
128 回	〃	〃	
129 回	〃	〃	
130 回	第44回MCOOL答練	専門試験対策	
131 回	〃	〃	
132 回	〃	〃	
133 回	第45回MCOOL答練	教養試験対策	
134 回	〃	〃	
135 回	〃	〃	
136 回	第46回MCOOL答練	専門試験対策	
137 回	〃	〃	
138 回	〃	〃	
139 回	第47回MCOOL答練	教養試験対策	
140 回	〃	〃	
141 回	〃	〃	
142 回	第48回MCOOL答練	専門試験対策	
143 回	〃	〃	
144 回	〃	〃	
145 回	第49回MCOOL答練	教養試験対策	
146 回	〃	〃	
147 回	〃	〃	
148 回	第50回MCOOL答練	専門試験対策	
149 回	〃	〃	
150 回	〃	〃	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
151 回	第51回MC00L答練	教養試験対策
152 回	〃	〃
153 回	〃	〃
154 回	第52回MC00L答練	専門試験対策
155 回	〃	〃
156 回	〃	〃

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	総合実践	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
		担当教員	井上 雄・柳谷 知宏
科目時間数	115 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修・選択・必修選択	開講時期	1年次4月～2年次8月
<p>【授業の目的・ねらい】 学生同士あるいは地域社会の方々といった他者との関りを通して、視野を広げ、気づき・考え・行動できる人材へと成長することを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーションおよび行事準備、運営、インターンシップなど他者と協力することをメインとする内容である。</p> <p>【授業における達成課題】 自分の考えを伝えることができることや他者との考えの違いを受け入れ協働できること、また自ら積極的に人や地域と関りを持つことができる。</p>			
使用教材		出版社	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（インターンシップ受入れ企業および盛岡市大通商店街）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（プレゼンテーション）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
総合実践		115 時間	井上 雄・柳谷 知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	オリエンテーション	授業の目的を理解し、最終的に何が身につけばよいかを具体的にイメージする	
2 回 3 必修	コミュニケーションゲーム（宝探しゲーム）	ヒントを頼りに、グループで答えを見つけることができる	
4 回	グループワーク（仕事と生活の関わり）	身近にある仕事についてグループで調査、研究を行い生活にどの程度密着したものであるのか理解を深める	
5 回	〃	〃	
6 回	〃	〃	
7 回	〃	〃	
8 回	〃	〃	
9 回	〃	〃	
10 回	〃	発表資料の作成のためのPCスキルを学ぶ	
11 回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーションについて理解した上で、発表準備を実践する	
12 回	〃	〃	
13 回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる	
14 回	〃	〃	
15 回	〃	〃	
16 回	〃	〃	
17 回	〃	グループごとの反省会・レポート作成	
18 回	〃	〃	
19 回 20 回	グループディスカッション（100億あったら働くか？）	他者の考えを聞き、多様な価値観を受け入れることができる 自らの考えを相手に説明することができる	
21 回 22 回	グループディスカッション（こんな人とは働きたくない）	自らの職業感について、相手に説明できる 他者の職業感についても理解をする	
23 回 24 回	グループディスカッション（採用するなら「ウサギ」と「カメ」どちらか？）	社会で求められる人材像について考えるきっかけとできる 自らの課題を発見できる	
25 回 26 回	ディベート（コンビニエンスストアの24時間営業の是非）	日々のニュースなどに関心を抱き、問題意識を持つことができる 自らの考えを主張できる	
27 回 28 回	ディベート（救急車の有料化の是非）	〃 〃	
29 回 30 回	インターンシップ準備 〃	夏季長期休暇中に職業体験をしてみたい企業、自治体のリストアップ 企業、自治体の業務内容の調査をし、理解をする	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31回	〃	〃
32回	〃	〃
33回	〃	インターンシップ希望先への受け入れの可否について問い合わせを行う
34回	〃	〃
35回	〃	〃
36回	〃	取り交わし文書の作成を行う
37回	グループワーク（公務員試験調べ）	公務員について（業務内容および試験内容等）グループで調査・研究を行い、職業理解を深める
38回	〃	〃
39回	〃	〃
40回	〃	〃
41回	〃	〃
42回	〃	〃
43回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーション資料の作成を目標に実践する
44回	〃	〃
45回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる
46回	〃	〃
47回	〃	〃
48回	〃	〃
49回	〃	グループごとの反省会・レポート作成
50回	〃	〃
51回	インターンシップ報告会	インターンシップで経験した内容についてレポートの作成
52回	〃	インターンシップでの経験をまとめ、プレゼンテーションを実践するための資料の作成
53回	〃	〃
54回	〃	〃
55回	〃	〃
56回	〃	インターンシップで学んだことを適切に相手にプレゼンテーションできる
57回	〃	〃
58回	〃	〃
59回	〃	〃
60回	〃	〃

科目名		科目時間総数	教員名
総合実践		115	井上 雄・柳谷 知宏
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
61 回	MC L文化祭準備	盛岡市大通商店街との連携を通し、地域に貢献することの意義を理解する	
62 回	〃	盛岡市大通商店街に出店するブースについて、グループごとに企画を考える	
63 必修	〃	〃	
64 回	〃	出店に際し、必要な経費、物品および人員の配置、来客予想などについて検討し計画書の作成を行う	
65 回	〃	〃	
66 回	〃	出店に必要な物品の手配、作成の実践	
67 回	〃	〃	
68 回	〃	〃	
69 回	〃	〃	
70 回	〃	MC L文化祭当日における運営（来客対応、準備、撤収等）	
71 回	〃	〃	
72 回	〃	〃	
73 回	〃	〃	
74 回	東京研修旅行準備	東京研修旅行の内容（自治体および企業訪問）と趣旨を理解する	
75 回	〃	希望する訪問自治体および企業のリストアップ	
76 回	〃	訪問希望の自治体および企業研究をし、理解を深める	
77 回	〃	〃	
78 回	〃	訪問企業先へ電話連絡を行い、受け入れの可否を確認する	
79 回	〃	〃	
80 回	〃	訪問先への質問事項および交通計画など検討し、計画書の作成を行う	
81 回	〃	〃	
82 回	東京研修旅行	計画した研修旅行の実践をし、職業意識の向上を図る	
83 回	〃	〃	
84 回	〃	〃	
85 回	〃	〃	
86 回	〃	〃	
87 回	〃	〃	
88 回	〃	〃	
89 回	グループワーク（自主企画による地域貢献活動とは？）	グループワークの趣旨について説明を受け、理解し、地域についてより深く考えるきっかけとする	
90 回		地域に貢献するために自らができることについて研究し、地域や人のために貢献したいという意欲を向上させる	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
91回	〃	〃
92回	〃	〃
93回	〃	〃
94回	〃	相手に伝わりやすいプレゼンテーション資料の作成を目標に実践する
95回	〃	〃
96回	〃	調査、研究した内容を適切にプレゼンテーションできる
97回	〃	〃
98回	〃	〃
99回	〃	〃
100回	〃	グループごとの反省会・レポート作成
101回	〃	〃
102回	面接対策授業（自分史作成）	自己分析の意義を理解し、意識を高める
103回	〃	自らの生き立ちを振り返り、自分の長所・短所・公務員を目指すきっかけや働くことの意義に気づくことができる
104回	〃	〃
105回	面接対策授業（受験先分析）	受験分析の意義を理解し、意識を高める
106回	〃	志望動機や携わりたい業務など、公務員としてどのように地域に貢献したいかを言葉にすることができる
107回	〃	〃
108回	面接対策授業（模擬面接・学生間）	学生同士で模擬面接を行い、どのような人材が社会人として適切であるかを理解する。
109回	〃	〃
110回	〃	〃
111回	〃	〃
112回	面接対策授業（模擬面接・対教員）	面接官役の教員との集団模擬面接を行い、社会人として適切な人材であるかを理解する。
113回	〃	〃
114回	〃	〃
115回	〃	〃

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	ビジネス教養 I	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
		担当教員	吉田 友哉
科目時間数	25 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修、選択・必修選択	開講時期	1年次10月～2月
<p>【授業の目的・ねらい】 日商簿記検定3級程度の会計知識を理解することにより、基礎的な経理知識の習得を目指す。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 日商簿記検定3級程度の会計知識を学び、経理知識を身に着けた上で、実務に応用できる力を養うことができる。</p> <p>【授業における達成課題】 日商簿記検定3級程度の会計知識の理解</p>			
使用教材		出版社	
テキスト経営学		ミネルヴァ書房	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】 【内容】 前職にて職務を1年経験（簿記）</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
ビジネス教養 I		25 時間	吉田 友哉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	簿記の基本	財務諸表や損益計算書などの決算書の概観を学び、理解する。	
2 回	簿記の基本	仕訳のルールについて理解し、基本的な仕訳ができる。	
3 回	商品売買	現金取引における商品売買や掛け取引について仕訳できる。(三分法)	
4 回	商品売買	返品処理等について仕訳できる。	
5 回	現金・預金	当座預金や当座借越、定期預金について仕訳できる。	
6 回	小口現金	小口現金について仕訳でき、小口現金出納帳の作成ができる。	
7 回	手形取引	約束手形、手形貸付・借入について仕訳ができる。	
8 回	その他の取引	貸付金・借入金、利息について、計算及び仕訳ができる。	
9 回	その他の取引	有形固定資産の購入・売却、未収金・未払金について仕訳できる。	
10 回	その他の取引	仮払金・仮受金について仕訳できる。	
11 回	訂正仕訳	訂正仕訳ができる。	
12 回	補助簿	売掛金元帳・買掛金元帳、商品有高帳、現金出納帳等を学び、理解できる。	
13 回	補助簿	売掛金元帳・買掛金元帳、商品有高帳、現金出納帳等の作成ができる。	
14 回	試算表	様々な試算表作成ができる。	
15 回	試算表	様々な試算表作成ができる。	
16 回	決算整理	現金過不足の仕訳ができる。	
17 回	決算整理	貯蔵品・当座借越について処理できる	
18 回	決算整理	売上原価の算定ができる。	
19 回	決算整理	貸倒れの処理及び貸倒引当金の設定ができる。	
20 回	決算整理	減価償却費の処理及び計算ができる。	
21 回	決算整理	経過勘定の処理ができる。	
22 回	精算表	精算表の作成に関する仕訳ができ、精算表の作成ができる。	
23 回	精算表	精算表の作成に関する仕訳ができ、精算表の作成ができる。	
24 回	B/SとP/L	貸借対照表及び損益計算書の作成に関する仕訳ができ、これらの作成ができる。	
25 回	B/SとP/L	貸借対照表及び損益計算書の作成に関する仕訳ができ、これらの作成ができる。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	ビジネス教養Ⅱ	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
		担当教員	吉田 友哉
科目時間数	40 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別	必修、選択・必修選択	開講時期	2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 ビジネスの場における法律について学び、法律の活用についての理解を深めることを目的とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 会社法や社会保障などに関する法律の学習を通じて、ビジネスの場における法律について理解を深める。</p> <p>【授業における達成課題】 授業で扱う法律の内容について、ビジネス実務法務検定2級程度の理解を目標とする。</p>			
使用教材		出版社	
レジュメ			
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】 【内容】</p>			

科目名		科目時間総数	時間	教員名
ビジネス教養Ⅱ		40		吉田 友哉
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標		
1回	ビジネス実務法務	コンプライアンスについて学ぶ。		
2回	ビジネス実務法務	株式会社の仕組みについて学ぶ。		
3回	ビジネス実務法務	株式会社の設立について学ぶ。		
4回	ビジネス実務法務	株式と株券および株主名簿について学ぶ。		
5回	ビジネス実務法務	株式と株券および株主名簿について学ぶ。		
6回	ビジネス実務法務	株式の譲渡について学ぶ。		
7回	ビジネス実務法務	株式の譲渡について学ぶ。		
8回	ビジネス実務法務	株主と株主総会について学ぶ。		
9回	ビジネス実務法務	株式会社における業務執行者（取締役）について学ぶ。		
10回	ビジネス実務法務	株式会社における業務執行者（取締役）について学ぶ。		
11回	ビジネス実務法務	株式会社における業務執行者（取締役）について学ぶ。		
12回	ビジネス実務法務	株式会社における業務執行者（代表取締役）について学ぶ。		
13回	ビジネス実務法務	株式会社における業務執行者（会計参与）について学ぶ。		
14回	ビジネス実務法務	株式会社における業務執行者（監査役会と会計監査人）について学ぶ。		
15回	ビジネス実務法務	株式会社における業務執行者（指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社）について学ぶ。		
16回	ビジネス実務法務	剰余金の配当について学ぶ。		
17回	ビジネス実務法務	会社の計算について学ぶ。		
18回	ビジネス実務法務	企業規模の拡大について学ぶ。		
19回	ビジネス実務法務	企業結合について学ぶ。		
20回	ビジネス実務法務	企業結合について学ぶ。		
21回	ビジネス実務法務	会社の資金調達について学ぶ。		
22回	ビジネス実務法務	会社の資金調達について学ぶ。		
23回	ビジネス実務法務	解散・清算について学ぶ。		
24回	ビジネス実務法務	委任にかかわる契約について学ぶ。		
25回	ビジネス実務法務	ファイナンス・リース契約について学ぶ。		
26回	ビジネス実務法務	知的財産権の概要について学ぶ。		
27回	ビジネス実務法務	知的財産権の概要について学ぶ。		
28回	ビジネス実務法務	知的財産権の概要について学ぶ。		
29回	ビジネス実務法務	不正競争防止法について学ぶ。		
30回	ビジネス実務法務	不正競争防止法について学ぶ。		

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	ビジネス実務法務	不正競争防止法について学ぶ。
32 回	ビジネス実務法務	消費生活用製品安全法について学ぶ。
33 回	ビジネス実務法務	個人情報保護にかかわる法律について学ぶ。
34 回	ビジネス実務法務	インターネットの普及と法規制について学ぶ。
35 回	ビジネス実務法務	金融・証券業に対する規制について学ぶ。
36 回	ビジネス実務法務	食品の安全に関する法規制について学ぶ。
37 回	ビジネス実務法務	ビジネスと環境保全関連法、社会福祉関連法について学ぶ。
38 回	ビジネス実務法務	許認可と行政手続法、企業にかかわる犯罪について学ぶ。
39 回	ビジネス実務法務	労働組合と使用者との関係について学ぶ。
40 回	ビジネス実務法務	社会保険等について学ぶ。

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 <p style="text-align: center;">PCスキル</p>	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
	担当教員	吉田 友哉
科目時間数 ：	33 時間	授業の種類 ：
必修・選択の別 ：	(必修)・選択・必修選択	(講義) ・ 演習 ・ 実習
		開講時期 ：
2年次11月～2月		
<p>【授業の目的・ねらい】 Excelの基本から応用まで、一通りの捜査を習得する。 便利な機能があるのに意外と使われていないことが多いので、体系的に習得することで、職場からの信頼を得られるようになる。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 サーティファイ検定2級に準拠した内容。 Excel:基本的な操作から関数、マクロまでを学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 サーティファイのExcel表計算処理技能検定2級または3級取得。</p>		
使用教材	出版社	
Excel表計算処理技能認定試験1・2級問題集	サーティファイ	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他 ()</p>		
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>		
<p>【担当職員の実務経験】</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
PCスキル		33	職員ビジネス科（Ⅱ種2年コー
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	Excel1	Excelの基本概要を学ぶ。	
2 回	Excel2	Excelのアプリケーションの起動を学ぶ。	
3 回	Excel3	Excel検定の合格基準を学ぶ。	
4 回	Excel4	数式の入力の仕方を学ぶ。	
5 回	Excel5	セルの書式設定を学ぶ。	
6 回	Excel6	セルの書式設定を学ぶ。	
7 回	Excel7	表示形式を学ぶ。	
8 回	Excel8	列幅・行の高さの設定を学ぶ。	
9 回	Excel9	印刷の仕方を学ぶ。	
10 回	Excel10	グラフの作成・グラフの種類を学ぶ。	
11 回	Excel11	グラフの構成要素を学ぶ。	
12 回	Excel12	グラフの書式設定を学ぶ。	
13 回	Excel13	ワークシートの管理を学ぶ。	
14 回	Excel14	関数の入力方法を学ぶ。	
15 回	Excel15	さまざまな関数を学ぶ。	
16 回	Excel16	関数のファイルコピー、絶対参照を学ぶ。	
17 回	Excel17	関数のファイルコピー、絶対参照を学ぶ。	
18 回	Excel18	データの入力規制について学ぶ。	
19 回	Excel19	表示形式を学ぶ。	
20 回	Excel20	条件付書式設定について学ぶ。	
21 回	Excel21	関数1	
22 回	Excel22	関数2	
23 回	Excel23	関数3	
24 回	Excel24	関数4	
25 回	Excel25	関数5	
26 回	Excel26	グラフ機能について学ぶ。	
27 回	Excel27	複数ワークシートの連携について学ぶ。	
28 回	Excel28	アウトラインについて学ぶ。	
29 回	Excel29	データベースについて学ぶ。	
30 回	Excel30	データベースについて学ぶ。	

時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標
31 回	Excel31	データ分析について学ぶ。
32 回	Excel32	マクロについて学ぶ。
33 回	Excel33	マクロについて学ぶ。

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">マナー基礎</p>	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
	担当教員	吉田 友哉
科目時間数 ： 8 時間	授業の種類 ：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別 ： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期 ：	2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 ビジネスにおいて必要となるマナーの基礎について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 基本的なマナーや接遇、会議の準備やビジネス文書の作成・管理についての技能等について学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 実社会において必要なマナーを学び、社会人としての適切な振る舞い及び諸問題への対処法を学ぶ。</p>		
使用教材	出版社	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>		
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>		
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>		
<p>【担当職員の実務経験】</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
マナー基礎		8	時間
教育に含むべき事項・テーマ		主要な学習内容と到達目標	
1	マナー及び接遇	敬語と接遇用語について学び、グループワーク等により練習する。	
2	マナー及び接遇	人間関係と話し方・聞き方、指示の受け方、報告のしかたについて学び、グループワーク等により練習する。	
3	マナー及び接遇	来客への対応、電話応対について学び、グループワーク等により練習する。	
4	マナー及び接遇	慶事及び弔辞におけるマナー、上書きと水引の結び方、贈答のマナーについて学び、グループワーク等により練習する。	
5	技能	会議についての基礎知識について学ぶ。	
6	技能	ビジネス文書についての基礎知識について学ぶ。	
7	技能	社内文書及び社外文書の書き方について学ぶ。	
8	技能	郵便物の取り扱いについて学ぶ。	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名	卒業研究	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
		担当教員	井上 雄
科目時間数	50 時間	授業の種類	講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>
必修・選択の別	<u>必修</u> ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期	2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 1年次より学習してきた一般教養ならびに地域社会における課題について自身の興味関心に基づき、研究を行い理解を深めることを目的とする</p> <p>【授業全体の内容の概要】 人文科学分野（歴史、地理）および地域社会（自治体の魅力や課題等）ならびに文化についてグループでの研究を実施し、レポートの作成、プレゼンテーションの実施をする</p> <p>【授業における達成課題】 講義における受動的な知識の吸収ではなく、自らが関心を持ったテーマについて研究を行うことで能動的に教養を深めたいと考える人材へと成長を図る</p>			
使用教材		出版社	
なし		なし	
<p>【使用教室】 ①. <u>HR</u> 2. その他（ ）</p>			
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト <u>3. 出席率</u> <u>4. 受講態度</u> <u>5. 課題提出・内容</u> 6. 検定試験 <u>7. その他</u>（<u>プレゼンテーション</u>）</p>			
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>			
<p>【担当職員の実務経験】</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
卒業研究		50	井上 雄
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1回	オリエンテーション	授業の目的の理解と目指すべき人材像の理解	
###回	テーマ選択	研究チームの結成と研究テーマの決定	
###回	〃	〃	
###回	研究計画書の策定	研究目的と研究の進め方について検討を行い、計画書の作成を実施	
###回	〃	〃	
###回	計画発表	各グループの研究テーマおよび内容、計画についてプレゼンテーションを実施	
###回	〃	〃	
###回	グループ研究	HRならびに現地において調査活動を実施	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	第1回中間報告前レポート作成	これまでの研究の成果と今後の課題についてレポートの作成を実施	
###回	〃	〃	
###回	第1回中間報告	研究の進捗度および今後の展望についてプレゼンテーションを行う	
###回	〃	〃	
###回	グループ研究	中間報告での担当教員および他学生からの指摘事項を元により研究の精度を高める	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	〃	〃	
###回	第2回中間報告前レポート作成	これまでの研究の成果と今後の課題についてレポートの作成を実施	
###回	〃	〃	
###回	第2回中間報告	進捗度の報告と最終プレゼンテーションに向けての課題の洗い出しを行う	

授業計画表

盛岡公務員法律専門学校

科目名 法律	学科名	公務員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
	担当教員	吉田 友哉
科目時間数： 8 時間	授業の種類：	講義 ・ 演習 ・ 実習
必修・選択の別：	必修 ・ 選択 ・ 必修選択	開講時期： 2年次11月～1月
<p>【授業の目的・ねらい】 ビジネス実務において必要となる法律について学ぶ。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 知的財産権、労働関連法規、消費者保護関連の法規について学ぶ。</p> <p>【授業における達成課題】 実社会において必要な法規を学び、諸問題に対する対処を学ぶ。</p>		
使用教材	出版社	
<p>【使用教室】 1. HR 2. その他（ ）</p>		
<p>【評価方法】 1. 定期試験 2. 小テスト 3. 出席率 4. 受講態度 5. 課題提出・内容 6. 検定試験 7. その他（ ）</p>		
<p>【備考】 評価について：評価方法については別紙参照により5段階評価する。</p>		
<p>【担当職員の実務経験】</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
法律		8	職員ビジネス科（Ⅱ種2年コース）
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 回	知的財産権	知的財産権保護の必要性と、特許権、実用新案権、意匠権について学ぶ。	
2 回	知的財産権	商標権、著作権、営業秘密について学ぶ。	
3 回	知的財産権	知的財産権侵害について学ぶ。	
4 回	労働関連法規	労働契約と、労働基準法、労働契約法、労働関係調整法について学ぶ。	
5 回	労働関連法規	その他の労働関係法規と、男女雇用機会均等法について学ぶ。	
6 回	労働関連法規	派遣労働における法律関係と諸問題について学ぶ。	
7 回	消費者保護関連法規	消費者保護法制の概要と、消費者契約法、割賦販売法について学ぶ。	
8 回	消費者保護関連法規	特定商取引法とその他の法規について学ぶ。	